

第2次熊本連携中枢都市圏 地球温暖化対策実行計画 資料編

目 次

資料1 市町村の温室効果ガス排出削減目標.....	1
資料2 施策の実施に関する市町村の目標	3
資料3 本計画の策定経緯.....	9
資料4 住民アンケート調査の結果.....	10
資料5 事業者アンケート調査の結果.....	16
資料6 こども向けワークショップ等の結果.....	22
資料7 関連する主な法令等.....	34
資料8 関連する市町村の上位計画.....	40

資料1 市町村の温室効果ガス排出削減目標

平成 25 年度（2013 年度）以降に排出量が増加している部門等については、令和 12 年度（2030 年度）の排出量が平成 25 年度（2013 年度）の排出量を上回る場合があります。

市町村	部門等	2013 (万 t-CO ₂)	2030	
			削減目標	万 t-CO ₂
熊本市	産業	61.8	44%削減	34.5
	業務その他	165.8	62%削減	63.6
	家庭	153.2	72%削減	43.3
	運輸	118.4	23%削減	91.3
	廃棄物	13.4	48%削減	7.0
	農業	7.8	9%削減	7.1
	その他	5.3	-2%削減	5.4
	合計	525.6	52%削減	252.3
玉名市	産業	7.5	16%削減	6.3
	業務その他	9.7	60%削減	3.9
	家庭	12.1	76%削減	2.9
	運輸	12.9	37%削減	8.1
	廃棄物	0.64	11%削減	0.57
	農業	3.8	11%削減	3.4
	その他	0.10	30%削減	0.07
	合計	46.7	46%削減	25.2
山鹿市	産業	9.7	56%削減	4.3
	業務その他	8.1	63%削減	3.0
	家庭	9.6	76%削減	2.3
	運輸	10.9	33%削減	7.3
	廃棄物	0.63	16%削減	0.53
	農業	4.5	4%削減	4.3
	その他	0.08	25%削減	0.06
	合計	43.5	50%削減	21.8
菊池市	産業	18.9	63%削減	6.9
	業務その他	7.3	68%削減	2.3
	家庭	8.4	81%削減	1.6
	運輸	10.5	44%削減	5.9
	廃棄物	0.24	-8%削減	0.26
	農業	18.0	12%削減	15.8
	その他	3.6	3%削減	3.5
	合計	66.9	46%削減	36.1
宇土市	産業	16.2	41%削減	9.6
	業務その他	5.0	72%削減	1.4
	家庭	6.5	75%削減	1.6
	運輸	7.7	42%削減	4.5
	廃棄物	0.51	6%削減	0.48
	農業	0.67	25%削減	0.50
	その他	0.51	6%削減	0.48
	合計	37.1	50%削減	18.6
宇城市	産業	15.5	47%削減	8.2
	業務その他	9.4	61%削減	3.7
	家庭	10.6	73%削減	2.9
	運輸	11.4	19%削減	9.2
	廃棄物	0.84	-4%削減	0.87
	農業	2.9	14%削減	2.5
	その他	0.09	22%削減	0.07
	合計	50.7	46%削減	27.4
阿蘇市	産業	8.9	57%削減	3.8
	業務その他	5.1	75%削減	1.3
	家庭	4.9	80%削減	1.0
	運輸	5.8	47%削減	3.1
	廃棄物	0.08	13%削減	0.07
	農業	7.1	7%削減	6.6
	その他	0.05	20%削減	0.04
	合計	32.0	50%削減	16.0
合志市	産業	24.5	45%削減	13.5
	業務その他	6.2	63%削減	2.3
	家庭	9.9	70%削減	3.0
	運輸	7.9	23%削減	6.1
	廃棄物	0.63	-27%削減	0.80
	農業	3.7	8%削減	3.4
	その他	3.9	62%削減	1.5
	合計	56.7	46%削減	30.6
美里町	産業	0.69	42%削減	0.40
	業務その他	1.3	68%削減	0.41
	家庭	1.9	78%削減	0.41
	運輸	2.0	35%削減	1.3
	廃棄物	0.14	14%削減	0.12
	農業	0.81	14%削減	0.70
	その他	0.02	50%削減	0.01
	合計	6.7	50%削減	3.4
玉東町	産業	0.45	49%削減	0.23
	業務その他	0.55	64%削減	0.20
	家庭	0.92	74%削減	0.24
	運輸	1.3	36%削減	0.83
	廃棄物	0.06	17%削減	0.05
	農業	0.11	-27%削減	0.14
	その他	0.01	0%削減	0.01
	合計	3.4	50%削減	1.7
南関町	産業	8.4	35%削減	5.5
	業務その他	1.1	75%削減	0.27
	家庭	1.8	79%削減	0.37
	運輸	2.3	65%削減	0.80
	廃棄物	0.10	20%削減	0.08
	農業	0.89	3%削減	0.86
	その他	0.02	50%削減	0.01
	合計	14.6	46%削減	7.9
長洲町	産業	23.7	55%削減	10.6
	業務その他	1.8	47%削減	0.95
	家庭	3.0	60%削減	1.2
	運輸	6.2	27%削減	4.5
	廃棄物	0.14	-21%削減	0.17
	農業	0.33	24%削減	0.25
	その他	0.05	20%削減	0.04
	合計	35.3	50%削減	17.7

市町村	部門等	2013 (万t-CO ₂)	2030	
			削減目標	万t-CO ₂
和水町	産業	5.8	60%削減	2.3
	業務その他	1.3	66%削減	0.44
	家庭	1.7	78%削減	0.37
	運輸	2.1	33%削減	1.4
	廃棄物	0.11	18%削減	0.09
	農業	2.1	5%削減	2.0
	その他	0.02	50%削減	0.01
	合計	13.1	50%削減	6.6
大津町	産業	31.8	59%削減	12.9
	業務その他	5.3	57%削減	2.3
	家庭	6.1	74%削減	1.6
	運輸	7.1	15%削減	6.0
	廃棄物	0.42	12%削減	0.37
	農業	3.8	-3%削減	3.9
	その他	0.06	0%削減	0.06
	合計	54.5	50%削減	27.3
菊陽町	産業	24.9	60%削減	10.0
	業務その他	6.5	48%削減	3.4
	家庭	7.6	70%削減	2.3
	運輸	6.8	15%削減	5.8
	廃棄物	0.52	12%削減	0.46
	農業	1.3	0%削減	1.3
	その他	0.63	-43%削減	0.90
	合計	48.1	50%削減	24.1
高森町	産業	1.3	49%削減	0.66
	業務その他	1.0	65%削減	0.35
	家庭	1.3	81%削減	0.25
	運輸	1.5	33%削減	1.0
	廃棄物	0.02	0%削減	0.02
	農業	1.4	14%削減	1.2
	その他	0.01	0%削減	0.01
	合計	6.5	46%削減	3.5
西原村	産業	5.1	55%削減	2.3
	業務その他	1.1	75%削減	0.28
	家庭	1.2	79%削減	0.25
	運輸	1.9	42%削減	1.1
	廃棄物	0.12	0%削減	0.12
	農業	1.7	18%削減	1.4
	その他	0.02	-2550%削減	0.53
	合計	11.1	46%削減	6.0
南阿蘇村	産業	1.0	29%削減	0.71
	業務その他	2.0	72%削減	0.57
	家庭	2.3	81%削減	0.44
	運輸	2.3	43%削減	1.3
	廃棄物	0.05	0%削減	0.05
	農業	1.8	11%削減	1.6
	その他	0.02	0%削減	0.02
	合計	9.4	50%削減	4.7

市町村	部門等	2013 (万t-CO ₂)	2030 ₂	
			削減目標	万t-CO ₂
御船町	産業	1.5	33%削減	1.0
	業務その他	2.4	63%削減	0.90
	家庭	3.1	76%削減	0.74
	運輸	3.8	39%削減	2.3
	廃棄物	0.24	8%削減	0.22
	農業	1.0	11%削減	0.89
	その他	0.03	33%削減	0.02
	合計	12.1	50%削減	6.1
嘉島町	産業	5.0	56%削減	2.2
	業務その他	2.9	52%削減	1.4
	家庭	1.5	69%削減	0.46
	運輸	2.1	10%削減	1.9
	廃棄物	0.21	0%削減	0.21
	農業	0.57	23%削減	0.44
	その他	0.02	0%削減	0.02
	合計	12.4	46%削減	6.7
益城町	産業	8.9	49%削減	4.5
	業務その他	5.9	59%削減	2.4
	家庭	5.7	74%削減	1.5
	運輸	7.3	16%削減	6.1
	廃棄物	0.50	30%削減	0.35
	農業	1.3	23%削減	1.0
	その他	0.06	0%削減	0.06
	合計	29.6	46%削減	16.0
甲佐町	産業	1.7	35%削減	1.1
	業務その他	1.5	62%削減	0.57
	家庭	1.9	74%削減	0.49
	運輸	2.6	31%削減	1.8
	廃棄物	0.17	24%削減	0.13
	農業	0.70	34%削減	0.46
	その他	0.02	50%削減	0.01
	合計	8.6	46%削減	4.6
山都町	産業	2.0	54%削減	0.93
	業務その他	2.4	70%削減	0.71
	家庭	2.9	79%削減	0.61
	運輸	3.4	38%削減	2.1
	廃棄物	0.27	15%削減	0.23
	農業	2.8	18%削減	2.3
	その他	0.03	33%削減	0.02
	合計	13.8	50%削減	6.9

資料2 施策の実施に関する市町村の目標

基本方針1 再生可能エネルギーの利用促進と徹底した省エネルギーの推進

指標「人口1人当たりのエネルギー消費量」は、住宅、事業所及び自動車等で消費するエネルギーを含みます。対策ケース（省エネ）によるエネルギー削減率よりも人口減少率が上回る場合、目標年度における人口1人当たりのエネルギー消費量は、現状よりも大きくなる見込みです。

指標：区域の再エネ発電設備導入量（MW）			
市町村	現状※1 2023年度	目標	
		2030年度	2035年度
熊本市	269	342	394
玉名市	70	95	113
山鹿市	64	87	103
菊池市	136	185	220
宇土市	31	42	50
宇城市	80	109	130
阿蘇市	25	29	32
合志市	53	69	80
美里町	46	62	73
玉東町	5	7	8
南閑町	66	90	107
長洲町	20	27	32
和水町	60	82	98
大津町	146	199	237
菊陽町	24	33	39
高森町	52	70	83
西原村	29	39	46
南阿蘇村	14	19	23
御船町	23	32	38
嘉島町	8	10	11
益城町	82	112	133
甲佐町	26	35	41
山都町	112	153	182

※1 環境省「自治体排出量カルテ」より

指標：人口1人当たりのエネルギー消費量（GJ/人）			
市町村	現状※2 2022年度	目標	
		2030年度	2035年度
熊本市	56.1	47.0	43.3
玉名市	66.1	58.2	53.3
山鹿市	64.7	60.4	56.4
菊池市	83.0	65.6	59.2
宇土市	119.5	101.8	104.1
宇城市	71.9	68.3	65.5
阿蘇市	85.7	68.8	68.3
合志市	83.7	68.0	63.9
美里町	54.0	48.9	44.8
玉東町	52.2	49.4	46.7
南閑町	216.2	190.4	195.4
長洲町	172.1	177.7	180.3
和水町	91.8	92.1	89.9
大津町	124.2	110.0	99.3
菊陽町	93.4	78.8	71.6
高森町	77.6	70.2	63.1
西原村	156.2	125.5	119.6
南阿蘇村	68.7	52.7	47.3
御船町	62.5	47.6	43.9
嘉島町	112.1	96.7	87.1
益城町	77.6	68.2	60.9
甲佐町	71.5	65.9	60.3
山都町	66.6	62.9	57.6

※2 資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー

消費統計」等を基に推計

基本方針 2 脱炭素型の都市・地域づくりの推進

目標は、各交通分野の計画・事業の見直しに合わせ、適宜、再設定します。

指標：公共交通機関の年間利用者数（人/年）					
市町村	区分	現状	年度	目標	年度
熊本市	公共交通機関の年間利用者数 万人/年	4,561	2022	5,412	2031
玉名市	地域公共交通利用者数・鉄道駅の乗車人員 人/日	2,838	2022	3,652	2028
山鹿市	地域公共交通の利用者数・路線バス 人/年	964,006	2023	951,000	2028
菊池市	公共交通利用者数（市で補助を行っている地域間の幹線的な路線バス） 人/年	129,763	2023	145,550	2029
宇土市	コミュニティバス「行長しゃん号」の利用者数 人/年	8,199	2021	10,000 以上	2026
宇城市	路線バスの利用者数 千人/年	672	2024	672	2029
阿蘇市	公共交通利用者数（路線バス） 人/年	71,131	2024	78,300	2028
合志市	コミュニティ交通の利用者数 人/年	77,756	2022	93,000	2028
美里町	(指標に関する数値がないため現状及び目標値について未設定)				
玉東町	ふれあいの丘（温泉施設）無料循環バス乗客数 人/年	8,100	2024	8,500	2029
南関町	住民の公共交通利用回数 回/人・年	4.7	2021	8.5	2027
長洲町	JR 長洲駅の年間利用者数（乗車人員） 人/年	213,890	2022	260,000	2028
和水町	路線バスの利用者数 人/年	22,583	2022	20,000 以上	2028
大津町	肥後大津駅の1日あたり乗車人員 人/日	2,170	2021	2,397 以上	2026
菊陽町	公共交通の利用者数・JR 人/日	4,638	2023	5,400	2028
高森町	公共交通の住民利用者数（ゆるっとバスと高森町民バスの1便あたり利用者数） 人/便	0.3~6.1	2020	2 以上	2032
西原村	路線バスの利用者数 人/年	12,507	2024	15,000	2029
南阿蘇村	公共交通の住民利用者数（ゆるっとバスと高森町民バスの1便あたり利用者数） 人/便	0.3~6.1	2020	2 以上	2032

指標：公共交通機関の年間利用者数（人/年）

市町村	区分	現状	年度	目標	年度
御船町	(指標に関する数値がないため現状及び目標値について未設定)				
嘉島町	(指標に関する数値がないため現状及び目標値について未設定)				
益城町	公共交通利用者数	人/年	294,660	2019	338,500
甲佐町	(指標に関する数値がないため現状及び目標値について未設定)				
山都町	路線バス利用者数	人/年	186,405	2022	207,000
					2028

基本方針 3 持続可能な資源循環社会の構築

目標は、各廃棄物分野の計画・事業の見直しに合わせ、適宜、再設定します。

指標：ごみの排出量 (g/人・日)				
市町村	区分	現状 (2023年度) ^{※1}	目標	年度
熊本市	家庭系・事業系	935	905	2031
玉名市	家庭系	549	543	2039
山鹿市	家庭系	515	489	2033
菊池市	家庭系	566	529	2028
宇土市	家庭系・事業系	738	710	2030
宇城市	家庭系	729	664	2033
阿蘇市	家庭系・事業系	932	861	2027
合志市	家庭系	549	529	2028
美里町	家庭系	479	420	2030
玉東町	家庭系	500	425	2033
南関町	家庭系	454	425	2033
長洲町	家庭系	556	543	2039
和水町	家庭系	522	425	2033
大津町	家庭系	538	529	2028
菊陽町	家庭系	528	463	2028
高森町	家庭系・事業系	711	665	2027
西原村	家庭系	674	591	2030
南阿蘇村	家庭系・事業系	762	734	2027
御船町	家庭系	532	466	2030
嘉島町	家庭系	584	512	2030
益城町	家庭系	592	519	2030
甲佐町	家庭系	559	490	2030
山都町	家庭系	457	450	2030

※1 環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」より

基本方針 4 豊かな自然環境の保全と環境に配慮した農林水産業の推進

指標：森林整備面積（ha） 【民有林造林面積（ha）、民有林除間伐面積（ha）の合計値】		
市町村	現状（2023 年度）※1	目標（2030 年度）
熊本市	67	65※2
玉名市	24	6
山鹿市	123	377
菊池市	120	353
宇土市	10	68
宇城市	17	157
阿蘇市	249	551
合志市	7	5
美里町	100	238
玉東町	12	19
南関町	18	98
長洲町	0	0
和水町	40	144
大津町	58	117
菊陽町	3	8
高森町	296	353
西原村	78	111
南阿蘇村	67	189
御船町	62	80
嘉島町	0	0
益城町	23	49
甲佐町	25	72
山都町	452	800

※1 熊本県「熊本県林業統計要覧」より

※2 放置竹林対策（森林・山村多面的機能発揮対策交付金等）に取り組んだ面積（2029 年度）

基本方針 5 脱炭素につながる行動変容の促進と環境投資の推進

指標：脱炭素化への取組を実施している住民の割合(%)			
市町村	現状 2023年度 ^{※1}	目標	
		2030年度	2035年度
熊本市	39	53	65
玉名市	42	55	67
山鹿市	41	55	66
菊池市	43	56	67
宇土市	38	52	64
宇城市	39	53	65
阿蘇市	37	52	64
合志市	43	56	67
美里町	38	52	64
玉東町	40	54	65
南関町	41	55	66
長洲町	36	51	63
和水町	41	55	66
大津町	40	54	65
菊陽町	39	53	65
高森町	35	50	63
西原村	39	53	65
南阿蘇村	40	54	65
御船町	37	52	64
嘉島町	38	52	64
益城町	37	52	64
甲佐町	36	51	63
山都町	40	54	65

※1 住民アンケート調査結果より

資料3 本計画の策定経緯

年度	経緯
令和6年度	<p>熊本連携中枢都市圏 地球温暖化対策連絡会議</p> <p>第1回連絡会議 5/17(金)</p> <p>第2回連絡会議 9/4(水)</p> <p>熊本連携中枢都市圏 地球温暖化対策協議会</p> <p>第1回協議会 10/4(金)</p> <p>第2回協議会 12/18(水)</p> <p>計画骨子</p> <p>第3回連絡会議 11/20(水) 11/21(木) 11/22(金) 11/26(火) 11/28(木) ※市町村意見交換</p> <p>第1回連絡会議 4/15(火)</p> <p>住民アンケート 1/10(金)～2/14(金) 事業者アンケート 1/9(木)～1/31(金)</p>
令和7年度	<p>計画素案たたき</p> <p>第1回連絡会議 4/15(火)</p> <p>住民アンケート (南関町・長洲町・和水町) 6/26(木)～7/14(月)</p> <p>計画素案</p> <p>第2回連絡会議 8/4(月)</p> <p>こどもワークショップ (アンケート)</p> <p>第1回協議会 8/22(金)</p> <p>第2回協議会 11/20(木)</p> <p>第3回連絡会議 11/13(木)</p> <p>パブリックコメント 令和7年○月○日 ～令和8年○月○日</p> <p>第2回協議会 11/20(木)</p> <p>第3回協議会 ○/○(○)</p> <p>第4回連絡会議 ○/○(○)</p>

資料4 住民アンケート調査の結果

(1) 調査概要

項目	内容
調査対象	◆ 18歳以上の住民（各市町村 約1,300人） ◆ 住民基本台帳から18歳以上の住民を年齢構成比に応じて無作為抽出
調査時期	◆ 令和7年1月10日（金）～令和7年2月14日（金） ※南関町・長洲町・和水町 ◆ 令和7年6月26日（木）～令和7年7月14日（月）
調査方法	◆ 調査票を郵送し、調査票（紙）への回答、または、WEB回答を依頼

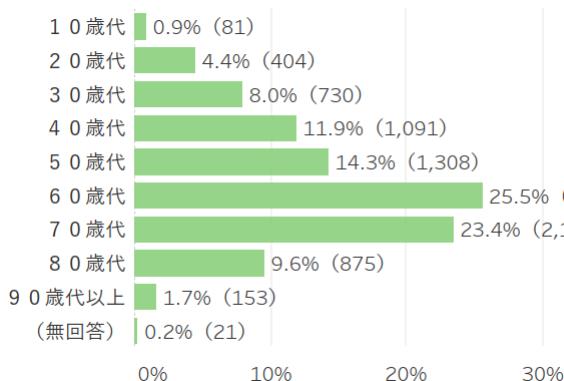
(2) 回収結果

市町村	調査票配布数	有効回答数			回収率
		計	紙	WEB	
熊本市	1,298	436	333	103	33.6%
玉名市	1,301	386	293	93	29.7%
山鹿市	1,300	396	332	64	30.5%
菊池市	1,298	380	306	74	29.3%
宇土市	1,299	387	312	75	29.8%
宇城市	1,300	409	330	79	31.5%
阿蘇市	1,299	385	303	82	29.6%
合志市	1,300	301	209	92	23.2%
美里町	1,296	407	345	62	31.4%
玉東町	1,299	433	369	64	33.3%
南関町	1,300	442	353	89	34.0%
長洲町	1,300	329	235	94	25.3%
和水町	1,301	454	373	81	34.9%
大津町	1,300	369	242	127	28.4%
菊陽町	1,299	371	279	92	28.6%
高森町	1,299	399	333	66	30.7%
西原村	1,298	441	343	98	34.0%
南阿蘇村	1,301	428	350	78	32.9%
御船町	1,289	365	279	86	28.3%
嘉島町	1,300	388	286	102	29.8%
益城町	1,299	372	289	83	28.6%
甲佐町	1,298	377	319	58	29.0%
山都町	1,300	469	399	70	36.1%
居住地無回答	—	15	15	0	—
合計	29,874	9,139	7,227	1,912	30.6%

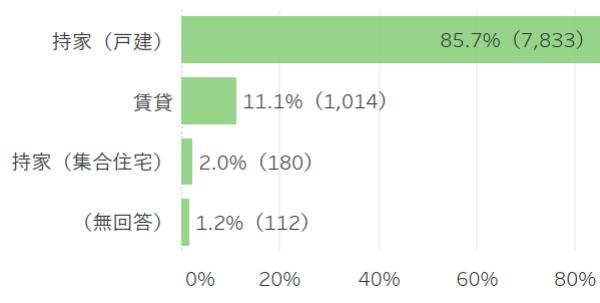
(3) 都市圏全体の回答結果

質問	回答される方ご自身について伺います。次の項目ごとに該当する選択肢を選んでください。
----	---

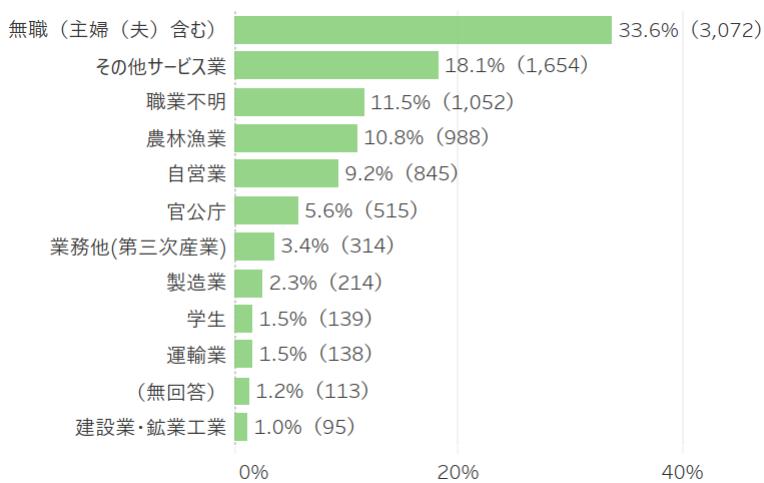
【年齢】



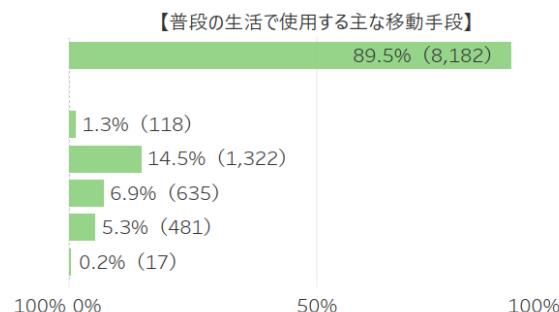
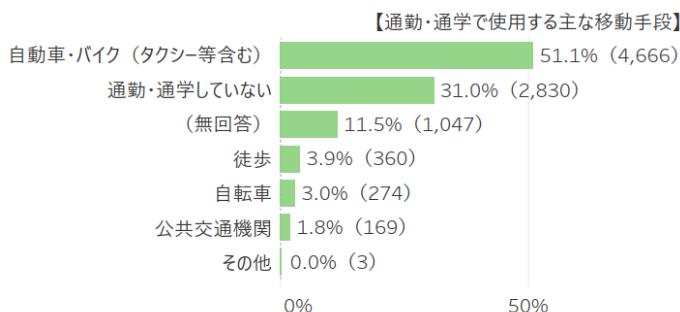
【住宅形態】



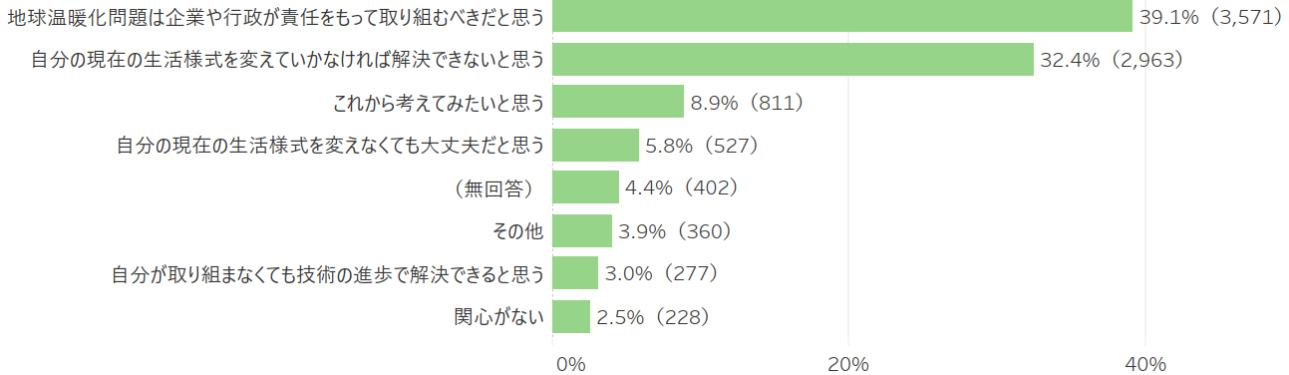
【職業】



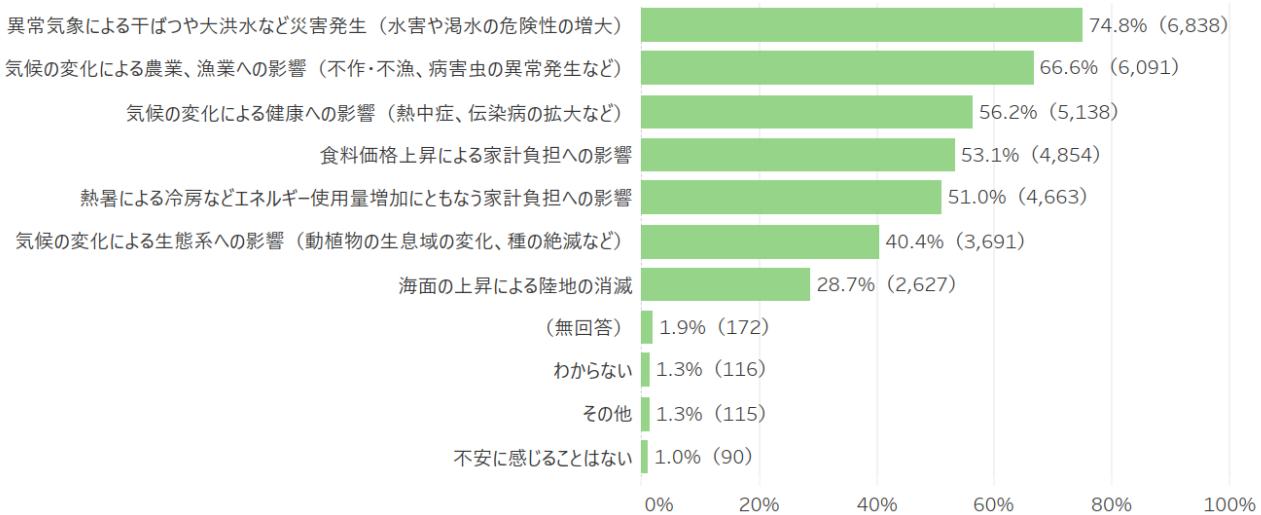
【主な移動手段】



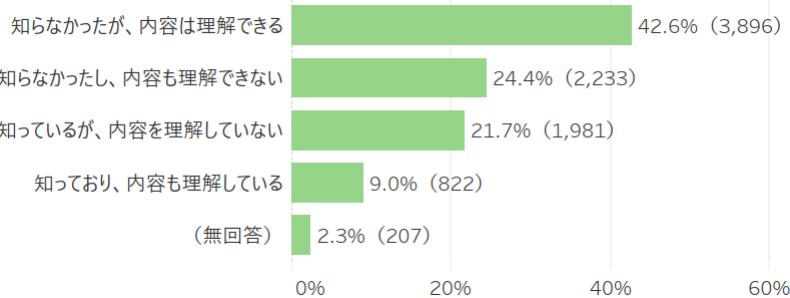
質問	地球温暖化問題に対するあなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。
----	--------------------------------------



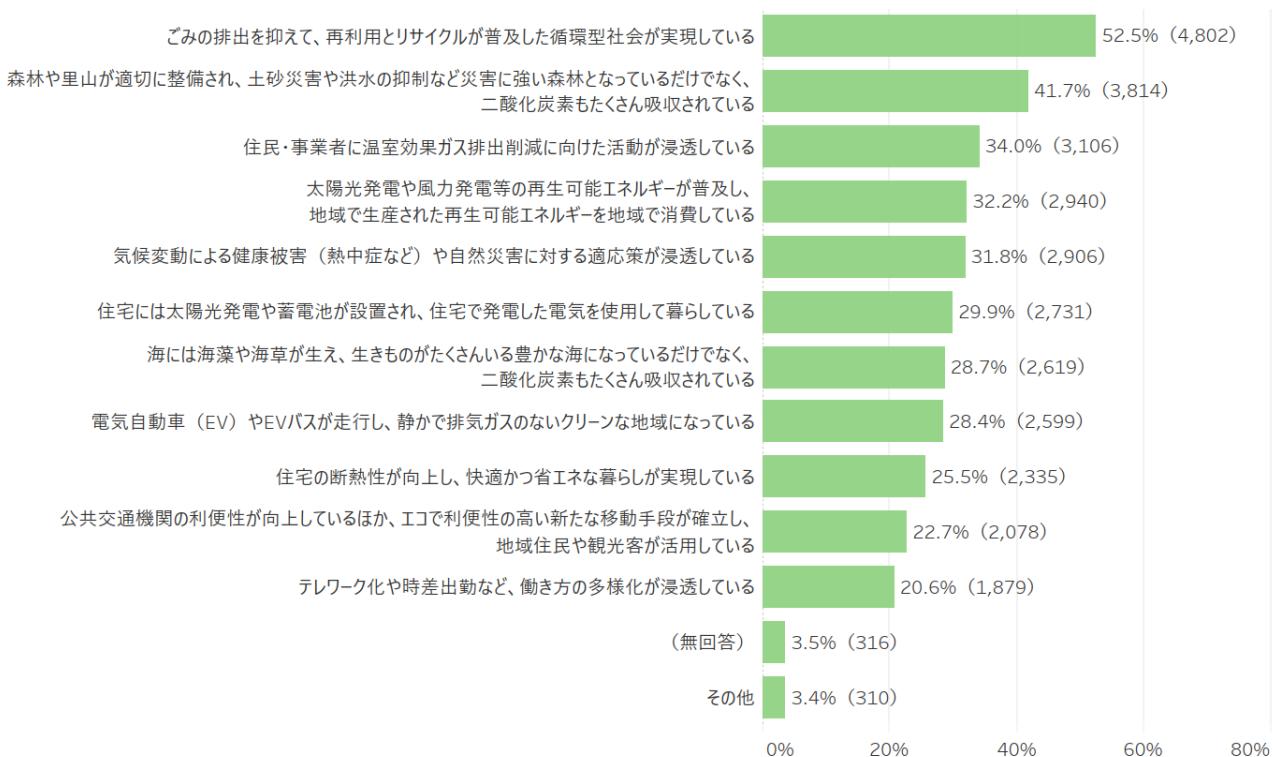
質問	地球温暖化による気候変動によって、自然や私たちの生活に様々な影響が生じています。あなたが気候変動によって、特に不安に感じている影響は何ですか。該当するものを選んでください。
----	--



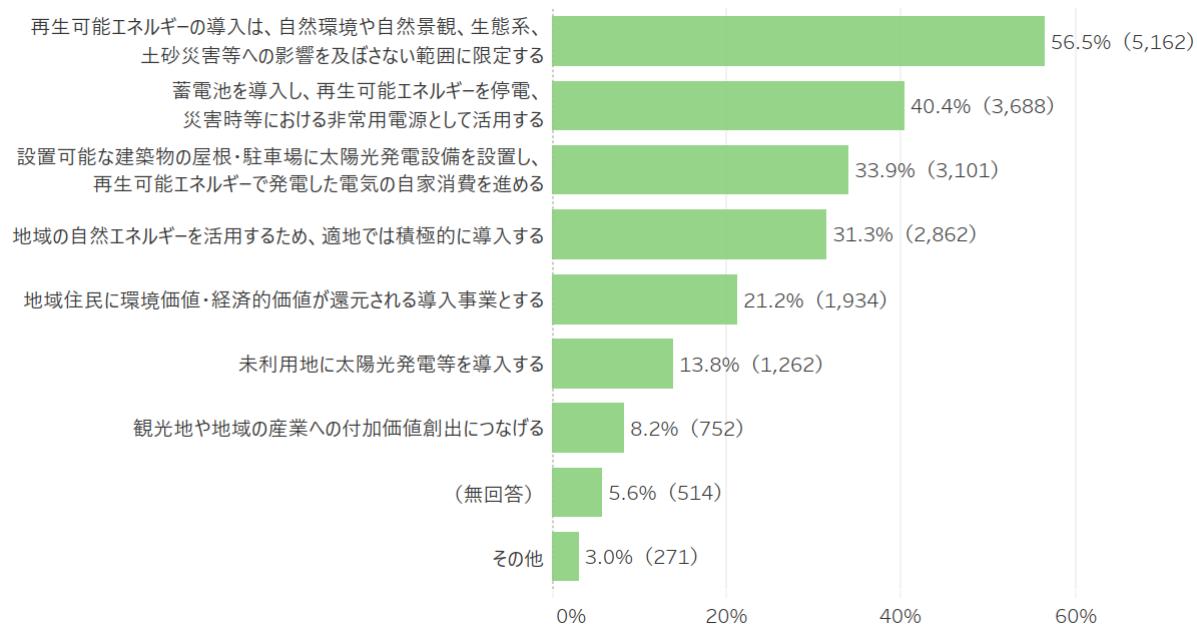
質問	熊本連携中枢都市圏では、令和2年1月に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言し、令和3年3月、熊本連携中枢都市圏を構成する18市町村（当時）共同で「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定しました。このことを知っていますか。
----	---



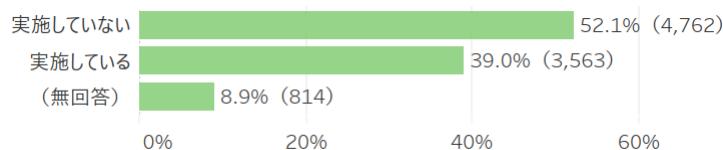
質問	「2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ」を実現することで、私たちの生活や、周りの環境がどのような状態になっていると良いと考えますか。該当するものを選んでください。
----	---



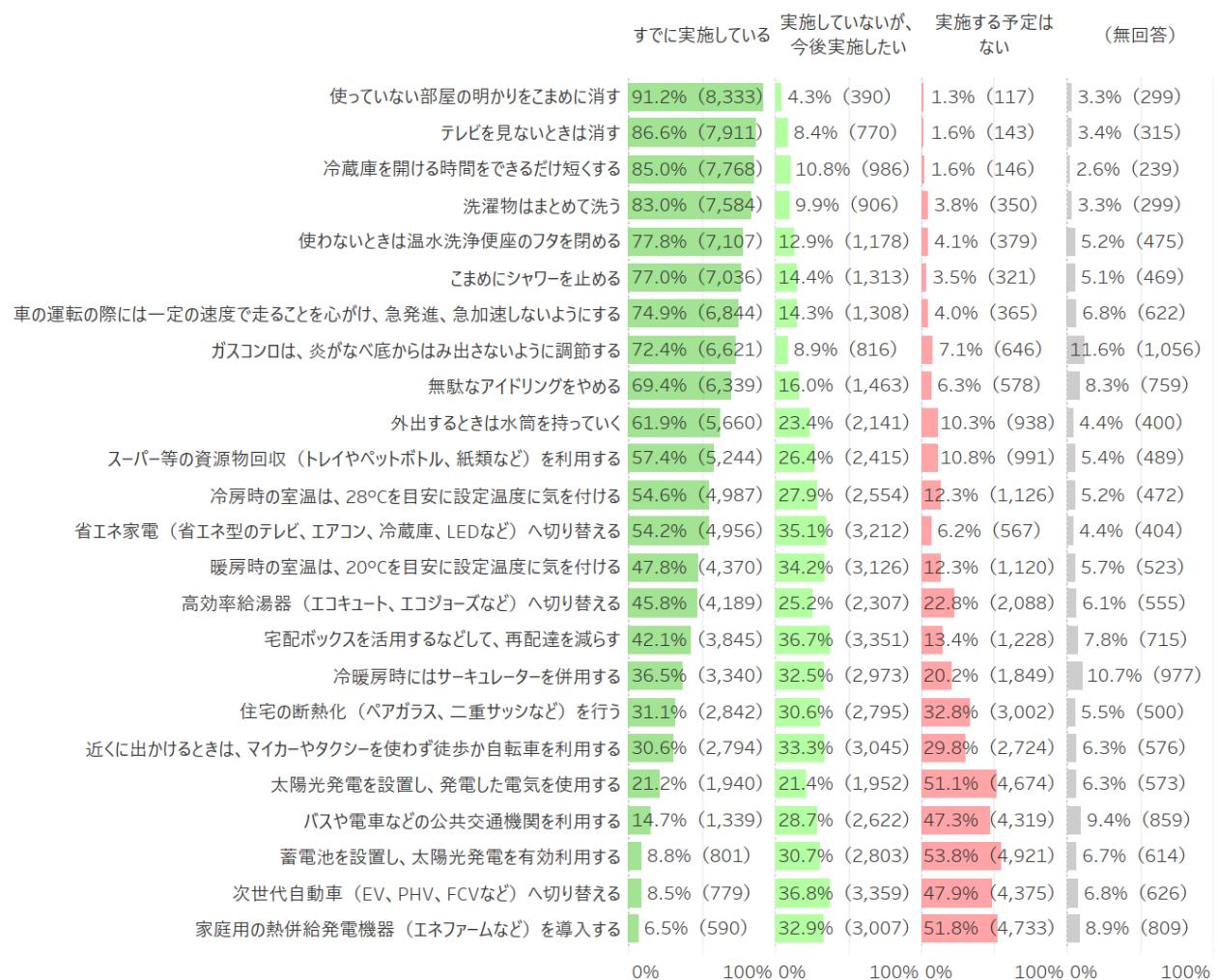
質問	「2050 年温室効果ガス排出実質ゼロ」の実現に向けては、再生可能エネルギーの導入拡大が必要とされています。再生可能エネルギーの導入を進める上で重要なことは何だと考えますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。
----	--



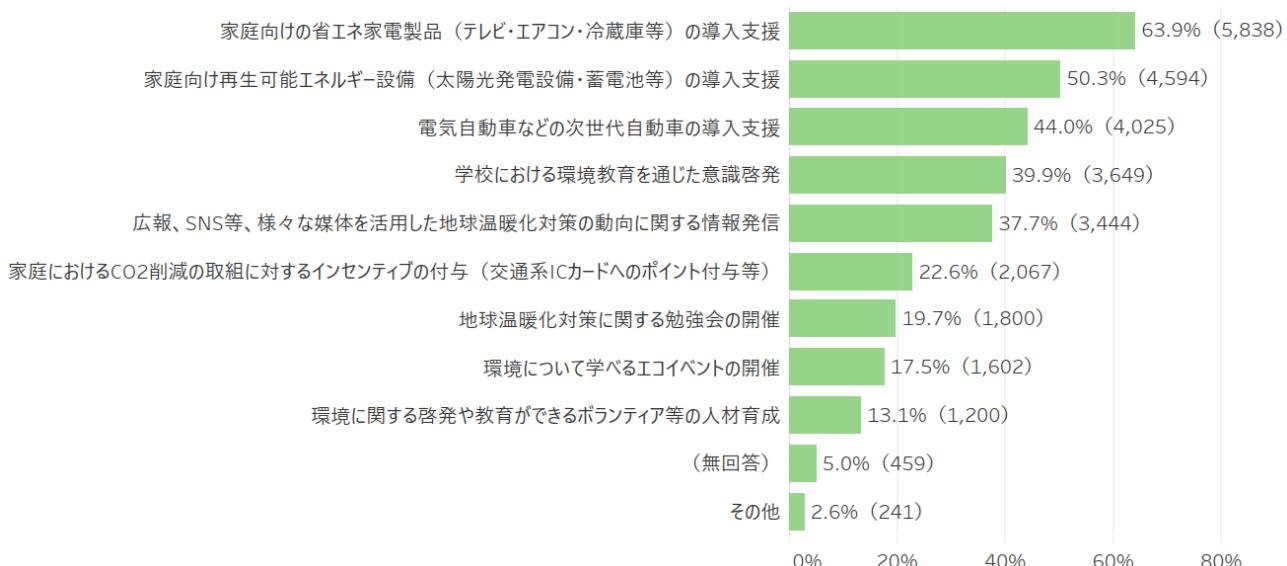
質問	脱炭素化への取組を実施していますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。			
----	---	--	--	--



質問	地球温暖化防止に向けた取組を行っていますか。あなたの家庭における取組状況について、次の項目ごとに最も近い選択肢を1つずつ選んでください。			
----	--	--	--	--



質問	家庭における地球温暖化対策の取組を普及させるため、行政機関に実施してほしい事業は何ですか。次の項目から、該当するものを選んでください。
----	---



資料5 事業者アンケート調査の結果

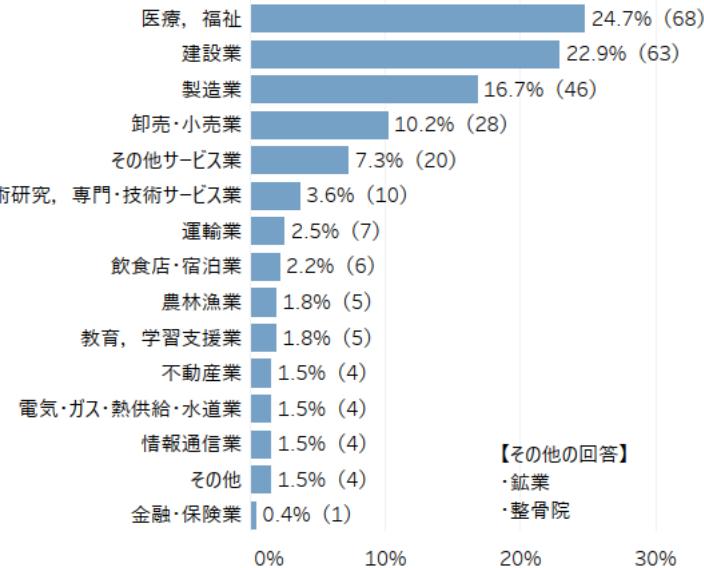
(1) 調査概要・回収結果

項目	内容		
調査対象	◆ 都市圏内の企業 1,275 事業所 ※「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の特定事業所 111 事業所を含む		
調査時期	◆ 令和 7 年 1 月 9 日（木）～令和 7 年 1 月 31 日（金）		
調査方法	◆ 調査票を郵送し、WEB 回答を依頼		
回収結果	調査票配布数：1,275	有効回答数：275	回収率：21.6%

(2) 回答結果

質問	貴事業所について伺います。 項目ごとに、該当するものをそれぞれ 1 つずつ選んでください。
----	--

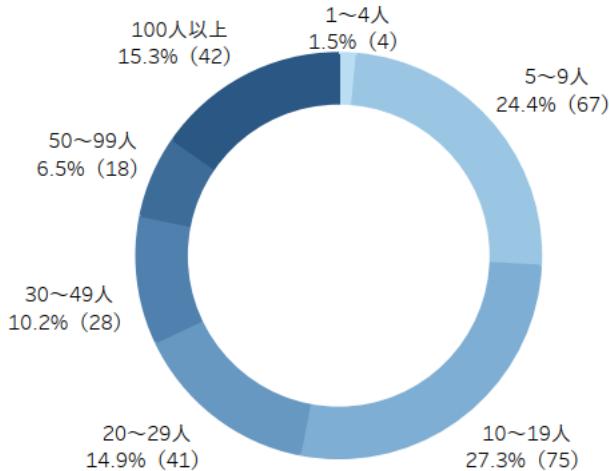
【業種】



【その他の回答】

・鉱業
・整骨院

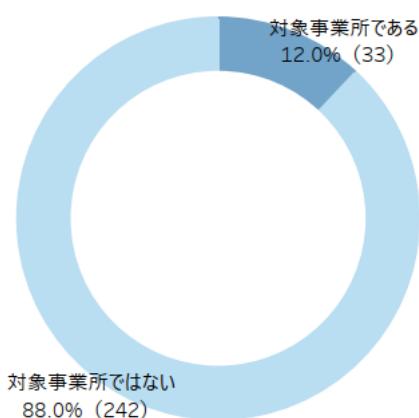
【従業員数】



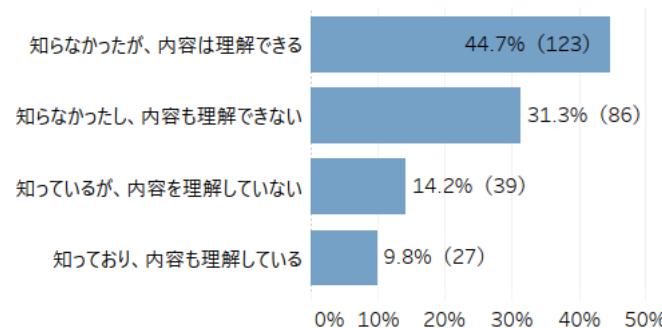
【事業所所在地】



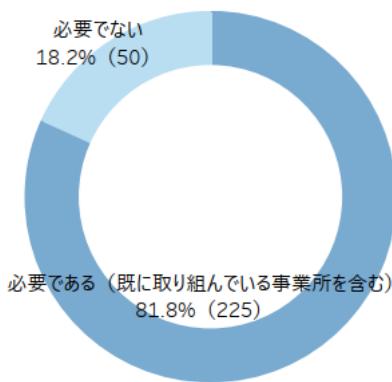
【温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象有無】



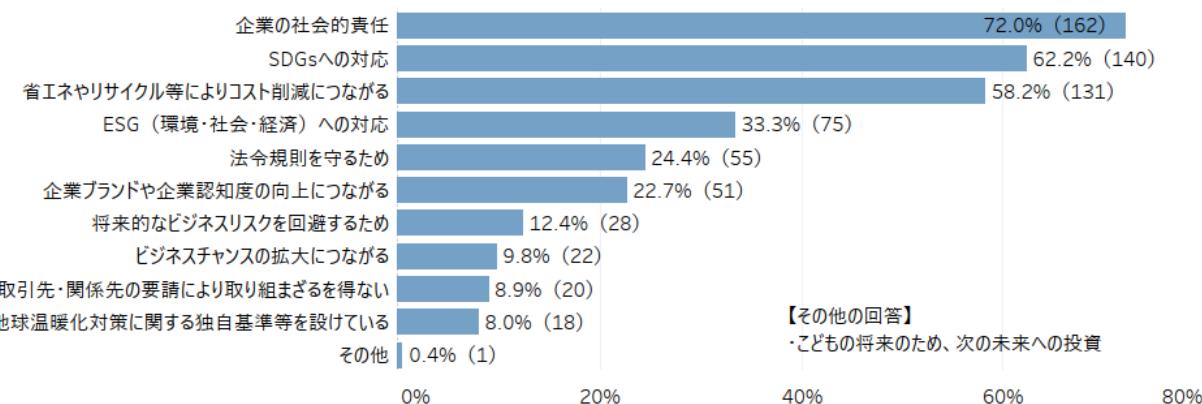
質問	熊本連携中枢都市圏では、令和2年1月に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを宣言し、令和3年3月、熊本連携中枢都市圏を構成する18市町村（当時）共同で「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定しました。このことを知っていますか。
----	---



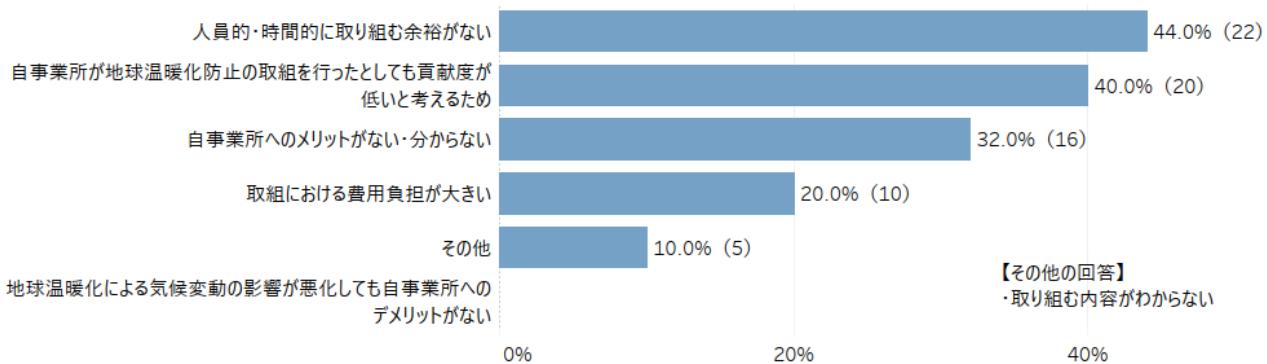
質問	貴事業所において地球温暖化対策に取り組む必要性はありますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。
----	---



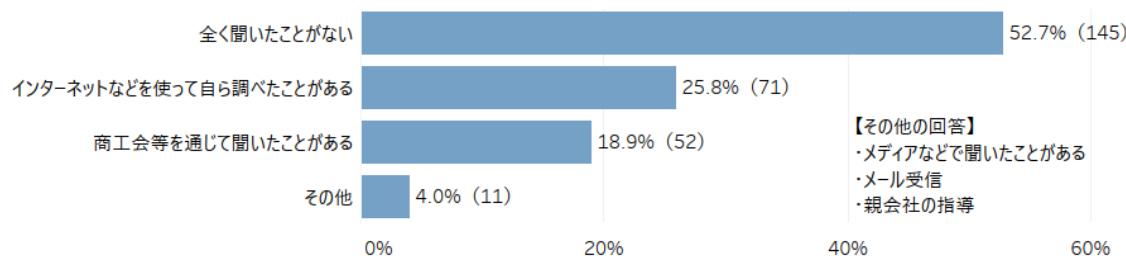
質問	「必要である」と回答した方に伺います。貴事業所において地球温暖化対策に取り組む理由は何ですか。次の中から、該当するものをすべて選んでください。
----	---



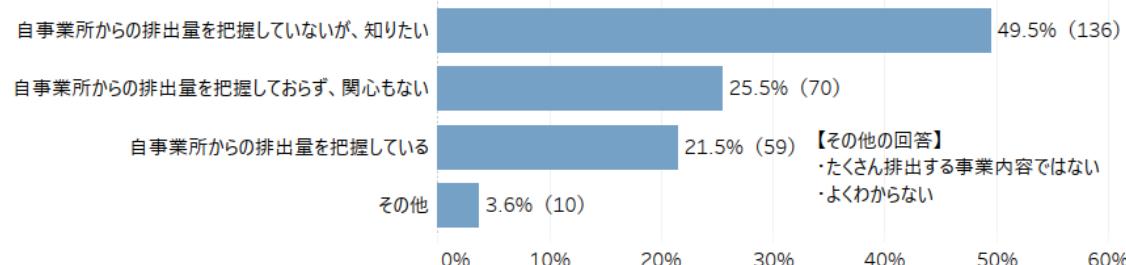
質問	「必要でない」と回答した方に伺います。貴事業所において地球温暖化対策に取り組まない理由は何ですか。次の中から、該当するものをすべて選んでください。
----	---



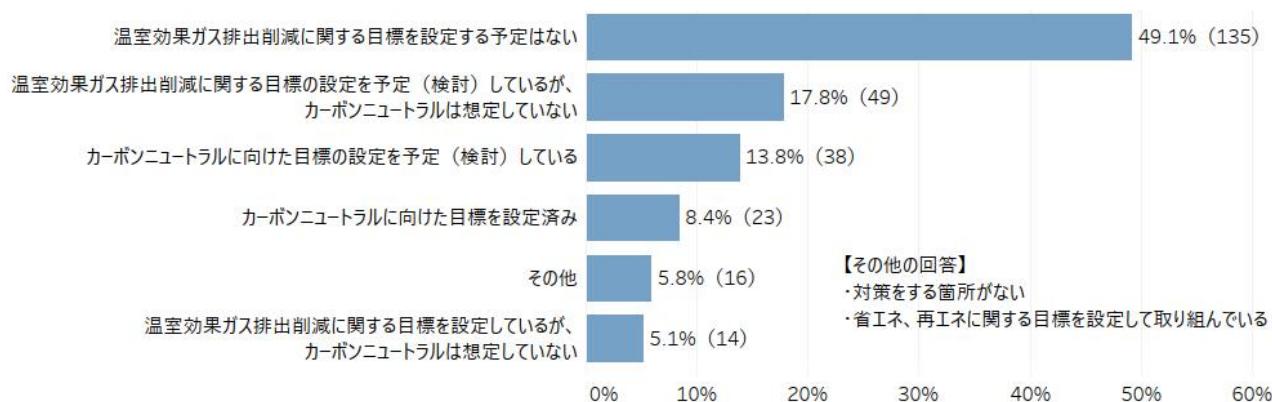
質問	経渀産業省及び環境省が「中小企業等のカーボンニュートラルに関する支援事業」を行っていますが、その情報は届いていますか。次の中から、該当するものをすべて選んでください。
----	---



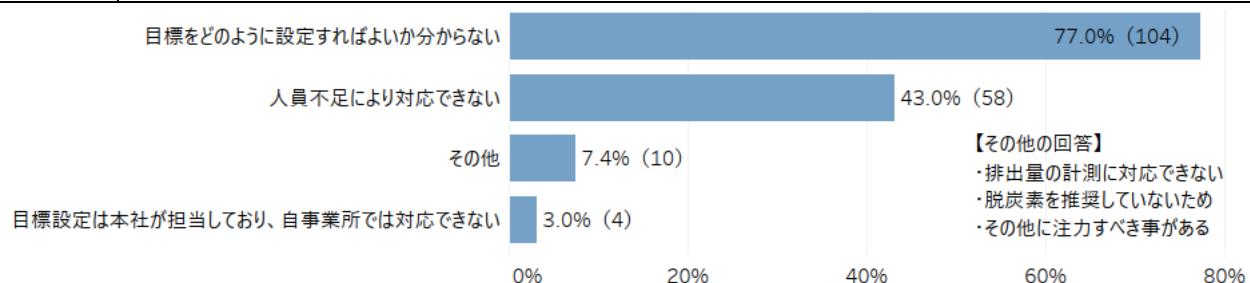
質問	貴事業所から排出される温室効果ガスの把握状況について、次の中から、該当するものを1つ選んでください。
----	--



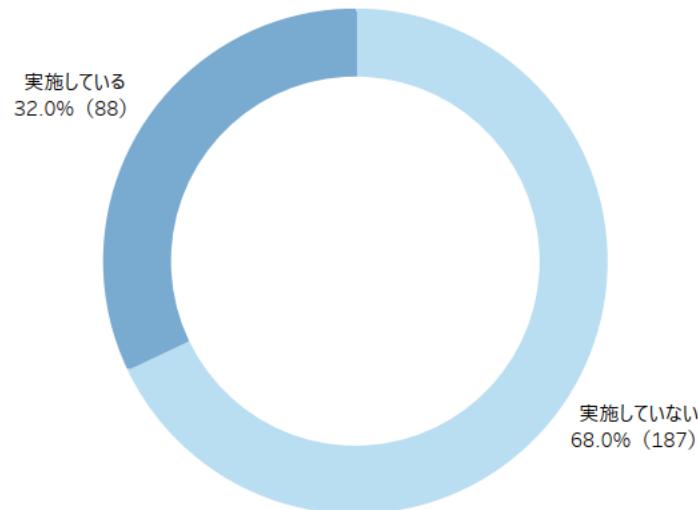
質問	貴事業所における温室効果ガスの排出削減目標について伺います。次の中から、該当するものを1つ選んでください。
----	---



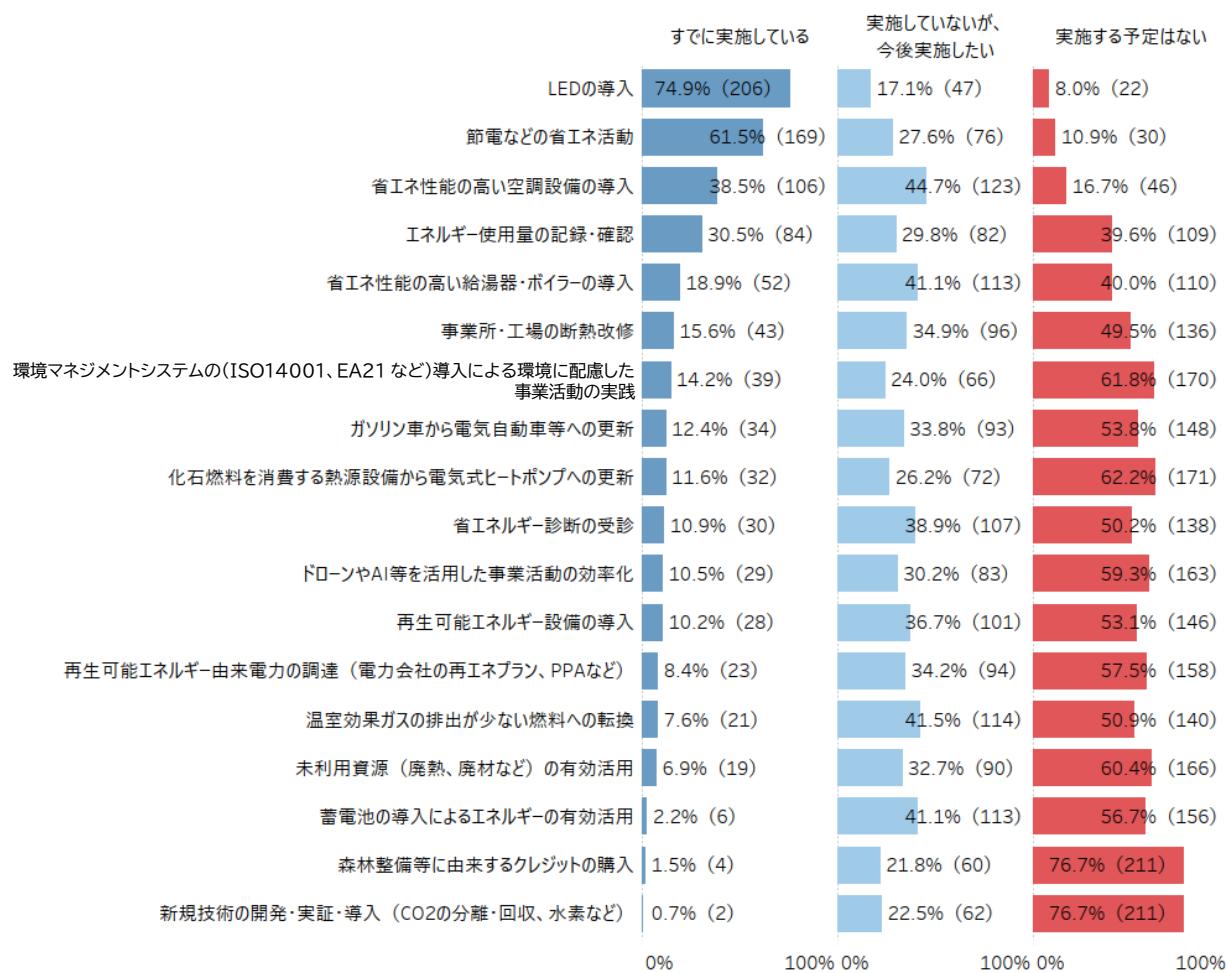
質問	「目標を設定する予定はない」と回答された方に伺います。目標を設定しない理由について、該当するものをすべて選んでください。
----	--



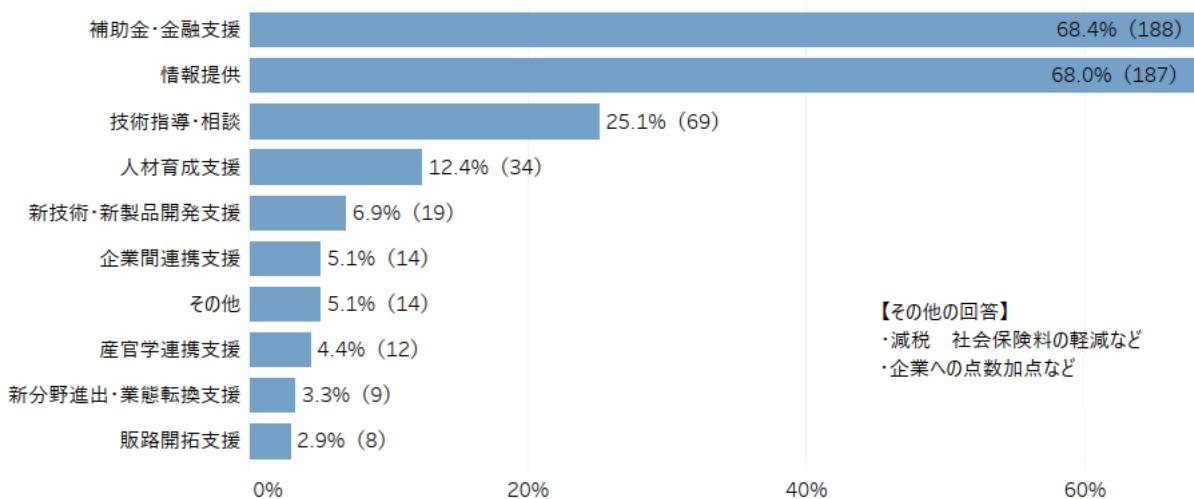
質問	貴事業所は、脱炭素化への取組を実施していますか。次の中から、該当するものを1つ選んでください。
----	---



質問	地球温暖化対策に関する取組の状況について伺います。次の項目ごとに最も近い選択肢を1つずつ選んでください。
----	--



質問	地球温暖化対策に取り組む上で、今後、貴事業所において特に必要な行政機関からの支援は何ですか。次の項目から、該当するものをすべて選んでください。
----	---



資料6 こども向けワークショップ等の結果

(1) こども向けワークショップ等の概要

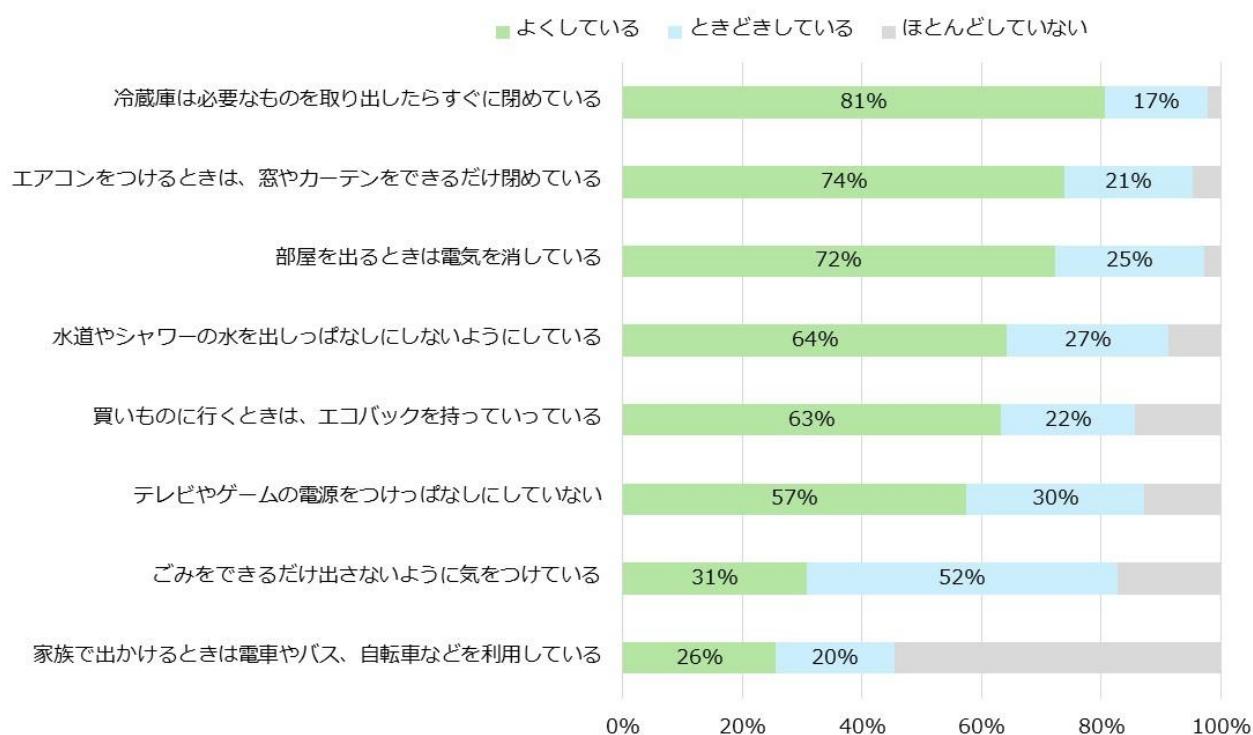
市町村	実施校	対象学年	実施方法	実施時期*	意見回収数
熊本市	天明中学校	1年生	ワークショップ	令和7年5月30日	35
	必由館高校	2年生		令和7年6月5日	12
	碩台小学校	5年生		令和7年6月17日	22
	託麻西小学校	5年生		令和7年6月20日	108
	中島小学校	4年生		令和7年7月8日	38
	出水中学校	1年生		令和7年7月9日 令和7年7月16日	238
	玉名市	横島小学校	5年生	アンケート	令和7年8月8日
山鹿市	山鹿小学校 八幡小学校 三玉小学校 大道小学校 鹿北小学校 菊鹿小学校 鹿本小学校 めのだけ小学校	4年生	アンケート	令和7年6月16日	326
	菊之池小学校	5年生	ワークショップ	令和7年6月30日	36
	菊池北小学校 隈府小学校 戸崎小学校 花房小学校 旭志小学校 泗水小学校 泗水西小学校 泗水東小学校 七城小学校	5年生	アンケート	令和7年6月30日	286
宇土市	緑川小学校	5年生	ワークショップ	令和7年6月23日	12
宇城市	青海小学校	5年生 6年生	アンケート	令和7年11月21日	33
阿蘇市	一の宮小学校 阿蘇小学校 阿蘇西小学校 内牧小学校 波野小学校	6年生	アンケート	令和7年6月20日	182
合志市	西合志第一小学校	4年生	ワークショップ	令和7年6月18日	18
美里町	中央小学校	5年生	アンケート	令和7年7月7日	31
玉東町	玉東中学校	1年生	ワークショップ	令和7年3月18日	45
南関町	南関第一小学校 南関第二小学校 南関第三小学校 南関第四小学校	5年生	アンケート	令和7年7月18日	52

市町村	実施校	対象学年	実施方法	実施時期*	意見回収数
長洲町	長洲小学校 清里小学校 六栄小学校 腹赤小学校	5年生	アンケート	令和7年6月20日	108
和水町	菊水小学校 三加和小学校	5年生	アンケート	令和7年6月20日	69
大津町	大津小学校 大津北小学校 室小学校 大津南小学校 大津東小学校 護川小学校 美咲野小学校	6年生	アンケート	令和7年7月11日	365
菊陽町	菊陽西小学校	6年生	アンケート	令和7年7月18日	122
高森町	高森中央小学校 高森東学園義務教育学校	4年生	アンケート	令和7年6月30日	39
西原村	未実施				
南阿蘇村	白水小学校 久木野小学校 南阿蘇西小学校	5年生	アンケート	令和7年6月20日	60
御船町	木倉小学校	6年生	ワークショップ	令和7年6月24日	18
嘉島町	嘉島中学校	2年生	アンケート	令和7年7月25日	92
益城町	津森小学校	6年生	ワークショップ	令和7年3月12日	21
甲佐町	甲佐中学校	1年生	ワークショップ	令和7年6月19日	85
山都町	蘇陽小学校 蘇陽南小学校 清和小学校	5年生	ワークショップ	令和7年5月9日	39
合計					2,527

* 実施時期のうち、アンケートについては回答期限を記載している。

(2) 小学校におけるワークショップ等の結果

質問	毎日の生活の中で電気や水などを大切に使っていますか？ 自分の毎日の行動を思いだして、あてはまるものに○をつけてみましょう。
----	--



質問	地球温暖化が進むと、私たちの生活やほかの生きものにどんな影響があるかな？しらべて自由に書いてみよう！
----	--

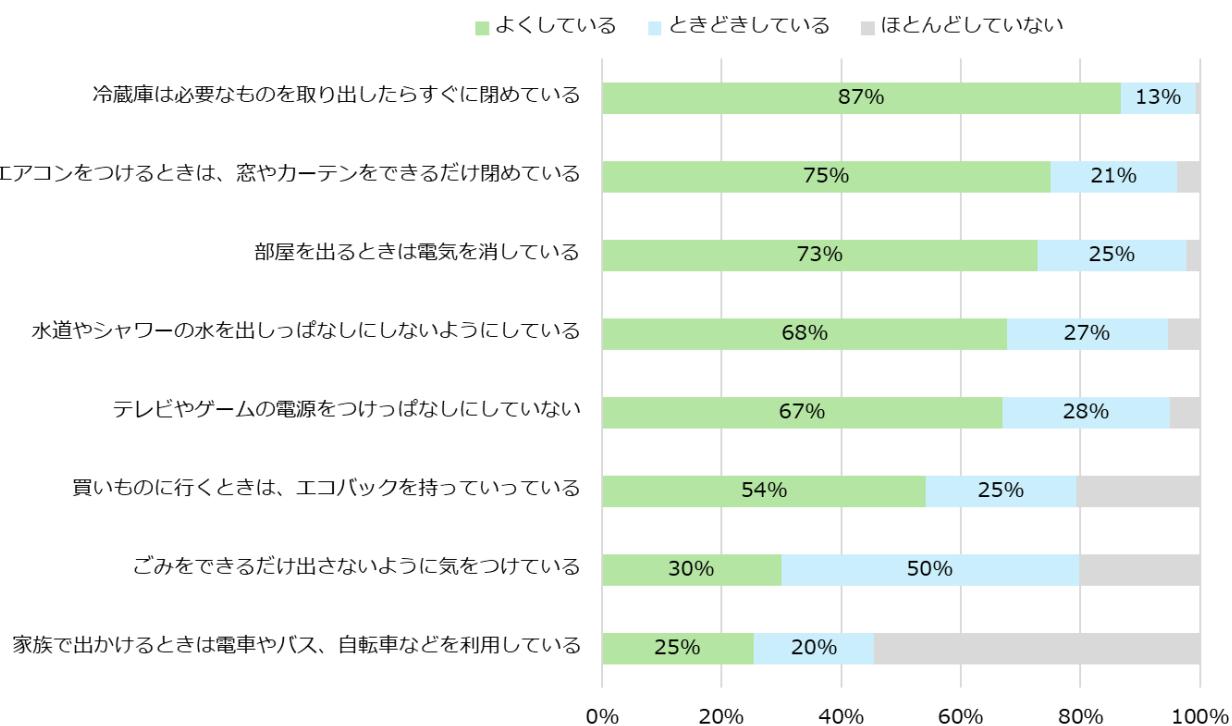
区分	こどもたちの意見（一例）
自然	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 多くの生き物が絶滅する ✧ 生物の生息地が変化する ✧ サンゴが白化してしまう ✧ 砂漠化する ✧ 生きものが減る ✧ 植物の開花時期が変わる ✧ 水が枯れる ✧ 四季がなくなる
災害	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 台風等の自然災害がひどくなる ✧ 毎年のように、災害が起きてしまう ✧ 大雨が増えて、災害が起こりやすくなったり、反対に雨が全然降らなかったりすることもある
農業	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 米や野菜など、気温が高くなつてあまり育たなくなる ✧ 牛や鶏などの動物がよく育たない ✧ 牛乳がとれなくなる
生活	<ul style="list-style-type: none"> ✧ （外で）遊べなくなる ✧ エアコンを多く使うので、電気を使ってしまう ✧ 冬も暑くなつしまう ✧ 夏に熱中症が増える ✧ 感染症が増加する ✧ 食料不足になる

質問	温室効果ガスを出さないために、家や学校ではどんなことができるかな？
区分	こどもたちの意見（一例）
省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ エアコンをつけるときは、窓やドアを閉める ✧ うちわを使って、涼しくする ✧ 使っていない部屋の電気を消す ✧ 外が明るいときは、電気をつけない ✧ 使わないコンセントを抜く ✧ だれもテレビを見ていないときは消す ✧ 省エネ家電を利用する
節水	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 水道やシャワーの水を出しっぱなしにしないようにする ✧ 歯を磨くとき、コップに水を入れて、水を出しっぱなしにしない ✧ 洗濯をするとき、浴槽の残り湯を使う ✧ 水を使い過ぎないようにお皿やお箸の使う量に気を付ける（食器洗い） ✧ 水やりの水は雨水を使う
移動	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 車でなくても行けるところは歩いていく ✧ 出かけるときは、電車かバスを使う ✧ 環境にいい車を使う
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ あるものを大切に使って、使えるのに捨てない ✧ ごみになるいらない物は買わない、物を大切にする ✧ エコバックを使用し、レジ袋を使わない ✧ エコバック作り ✧ マイボトルを持って出かけるなど、使い捨てプラスチックを減らす ✧ ごみの分別レース ✧ 環境に配慮した商品の購入
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 植物を育てる（木を増やす） ✧ 地産地消する ✧ 車やバイクに太陽光パネルをつける

質問	みんなが大人になったとき、どんなまちになっていてほしい？自由に書いてみよう！
区分	こどもたちの意見（一例）
緩和	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 省エネ製品を選び、待機電力を減らすまち ✧ 地球温暖化対策を心がけている人が多いまち ✧ 環境に優しい建物がたくさんあるまち ✧ 太陽とか風とか水の力で電気をつくるまち ✧ 自然の植物がいっぱいあって、暑さで病気にかかる人が少ないまち ✧ 自然も残しながらほとんどの家にソーラーパネルがついているまち
新技術	<ul style="list-style-type: none"> ✧ ニ酸化炭素を酸素に変える装置があるまち
移動	<ul style="list-style-type: none"> ✧ バスや電車を使い、車の渋滞が少ないまち ✧ バスや電車が便利なまち ✧ ほとんどの車が電気自動車になっているまち
理解・意識	<ul style="list-style-type: none"> ✧ みんなが地球温暖化を意識しているまち ✧ みんなが節電・節水して、子どもたちが笑って暮らせるまち ✧ 地球温暖化について学び、一人一人が電気や水を大事に使うまち ✧ 熊本県で一番地球温暖化防止に取り組んでいるまち ✧ 地球温暖化がなくなり、SDGs が全部達成されているまち
自然	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 人も動物も植物も全ての生き物が住みよいまち ✧ 春・夏・秋・冬がしっかりとあるまち ✧ 世界一緑がきれいなまち ✧ CO₂ が増えすぎないまち ✧ 自然のエネルギーを利用するまち
災害	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 自然災害がなくて安心して過ごせるまち
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ みんながごみを出さないようにするために、物を大切にするまち ✧ 持続可能な社会で、ごみを積極的に減らすまち ✧ エコ（3R）に特化したまち

(3) 中学校におけるワークショップ等の結果

質問	日頃から省エネや節水ができるているか確認してみよう！ 自分の毎日の行動を思いだして、あてはまるものに○をつけてみましょう。
----	--



質問	家庭や学校でできる省エネや節水につながる活動を考えて、書いてみよう！
区分	こどもたちの意見（一例）
省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 部屋を出るときは、電気をこまめに消す ✧ 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない ✧ スマホやタブレットの画面の明るさを低くする ✧ エアコンがついている部屋から出るときはドアを閉める ✧ 部屋を出るときは照明やエアコンを消す ✧ コンセントを使わないときは抜く ✧ エアコンの温度（冷房は28℃、暖房は20℃等）を調整する ✧ エアコンを使うときは、ちゃんとタイマーをかける ✧ 扇風機でいいときは、扇風機を使う ✧ 寒いときや暑いときは、最初にエアコンをつけずに、窓を開けたり、毛布を使う
節水	<ul style="list-style-type: none"> ✧ お風呂の水を洗濯に使う ✧ 歯磨きのときはコップを使う ✧ トイレの大小を使い分ける
移動	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 近くに買い物に行く時は、自転車に乗っていく ✧ 公共の乗り物になるべく乗る
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ リサイクル、リユース、リペア、リデュースをする ✧ ゴミを出さないように詰め替え用を買う ✧ フードロスを減らす ✧ 水筒を持っていく
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✧ メディアの時間を減らし、運動の時間を増やす

質問	地球温暖化や気候変動が私たちの暮らしに及ぼす影響やその対策について、書いてみよう！	
分野	区分	こどもたちの意見（一例）
農林水産業	影響①	✧ 気温が高くなると、作物の生産が難しくなる
	対策①	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ハウスなどで栽培を増加させる ➢ 高温でも育つお米などの品種を導入する ➢ 遅植えや直播栽培によって、登熟期を遅らせる
健康	影響①	✧ 熱中症が増える
	対策①	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 水を飲む ➢ 涼しい服装をする ➢ 首がつく部分を冷やす ➢ 外出時には、帽子や日傘を着用する ➢ グリーンカーテンをする
	影響②	✧ 感染症のリスクが増加する
	対策②	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存の感染症リスクに対応する ➢ 健康的な生活習慣を身につける ➢ 蚊が育つ水たまりを作らない
自然災害	影響①	✧ 自然災害が増える
	対策①	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害用品などを備える ➢ ハザードマップや天気予報を確認する ➢ 土砂が崩れそうなところを避けて登校する ➢ 防災アプリを活用する ➢ 土を強化させる ➢ 自分の周りに災害が起きたりそうな場所があるか確認する ➢ 土砂災害が発生した時の避難場所を調べておく ➢ 地下の入口には止水版を設置して水の侵入を防ぐ
	影響②	✧ 海面上昇が起こる
	対策②	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 堤防を高くする ➢ 養浜や浸食対策で砂浜保全
自然生態系	影響①	✧ 海水温の上昇
	対策①	<ul style="list-style-type: none"> ➢ サンゴの移植や増殖を行う
水環境・水資源	影響①	✧ 動物や植物への影響が出る
	対策①	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 水の循環装置を使って水質改善を行う

質問	2050年にどんなまちになっていてほしいか考えて、書いてみよう！
区分	こどもたちの意見（一例）
緩和	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 薄い太陽光パネルを使って様々な場所で電気が作られ、技術が発達し、環境問題を改善するために活動するまち ✧ 節水や節電がしっかりできるまち ✧ 再生可能エネルギーで電気を作るまち ✧ 家にソーラーパネルがあるまち
移動	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 会社などで電気自動車などを充電するところを提供するまち ✧ バスか電車で移動するまち ✧ 電気自動車や自転車を使うまち
理解・意識	<ul style="list-style-type: none"> ✧ みんなで SDGsについて考えて、その課題について行動できるまち ✧ 地球温暖化を対策するボランティアがたくさん開催され、たくさんの人が参加するまち ✧ 水が豊かで、環境について学び、大切にするまち ✧ 住んでいる全員が地域のことを見て節電、節水に取り組むまち ✧ カーボンニュートラルが実現しているまち
自然	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 切る→植える→育てるが循環するまち ✧ 緑が多く、野菜がたくさん採れるまち ✧ 水がきれいなまち ✧ 空気がきれいなまち
災害	<ul style="list-style-type: none"> ✧ みんながこまめに水分を取り、災害のないまち ✧ 災害に強いまち
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ ごみが少なくエコで快適なまち ✧ 3Rができるまち ✧ ポイ捨て〇のきれいなまち ✧ みんながエコバックをもっており、ゴミが出ないようになるまち ✧ リサイクルを積極的にやっているまち
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 緑豊かだけど、発展したまち ✧ 病気の少ないまち ✧ ほかの地域よりも気温が低いまち（避暑地的な） ✧ パッション（情熱）が溢れるまち

(4) 高等学校におけるワークショップ等の結果

質問	あなたは、地球温暖化や気候変動に興味や関心がありますか。興味・関心の有無を回答し、その回答を選択した理由を書いてみてください。
----	---

選択肢	回答理由
とても興味・関心がある	✧ 今の日本および世界の環境の異変をどうにかしたいと思っているから。
少し興味・関心がある	✧ 地球温暖化や気候変動が起きている原因や仕組みについて知ることが好きだから。 ✧ 地球温暖化や気候変動を知ることは、世界の状況を知るのにとても大切だと思うから。 ✧ 日常生活で暑いと思うから。 ✧ 中学校の探究活動に「地球温暖化」をテーマに探求をしたことで関心を持つようになった。 ✧ どのようにしたら気温が下がるか知りたいから。
あまり興味・関心がない	✧ CO ₂ を多く出している所がなんとかしてくれるといいと思うから。 ✧ 授業で単語くらいしか聞いたことがなく、あまり実感もないから。
全く興味・関心がない	—

質問	あなたが力を入れてほしいと思う「緩和策」と「適応策」の取組を書いてみてください。
----	--

対策・施策	区分	取組
緩和策	再エネ等	✧ 再生可能エネルギーを使った発電 ✧ エネルギーの転換（水素エネルギー）
	省エネ	✧ 省エネ家電への買い替えの支援 ✧ 節電・節水（エアコンの設定温度を見直す、雨を有効に使うなど）
	移動	✧ 公共交通機関の利用 ✧ 電車やバスなど公共交通機関を電動化する ✧ EV・水素自動車への買い替えの支援 ✧ 自動車の渋滞を減らす
	ごみ	✧ ごみの分別、リサイクル ✧ エコバックの利用率を増やす
適応策	気温	✧ 街中にシャワーミストを導入（暑さ対策） ✧ 気温を表示する電光掲示板を各所に設置 ✧ 暑さ対策 ✧ 水分補給をする ✧ エアコンを適切に使う ✧ 木を植える
	災害	✧ 河川の整備 ✧ 自然災害に備えた避難場所の整備
	自然	✧ 生態系の変化

質問	あなたが地球温暖化対策に取り組むきっかけになるキーワードを2つ選んでください。また、そのキーワードを選択した理由や、具体的な取組のアイデアを書いてみてください。
キーワード	選択した理由（✓）・取組のアイデア（☆）
①手軽さ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今までどのようなことをすれば温暖化対策になるか分からないので、誰でも今すぐ始められるような取組について知りたいと思ったから ☆ 手軽に温暖化について知れるワークショップを開く
②楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地球温暖化は少し難しく感じるから ✓ 楽しくできると続けることができるから ☆ 楽しみながら知ることができる体験（温度・VR） ☆ 地元の食材で料理をする
③達成感	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取組をして達成感を味わえると、関心が高まると思うから
④危機感	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 平均気温が上がったりしているから ✓ 今の地球の危機が伝わりづらい、今後どうなってしまうのかを知りたい ✓ 暑さによる熱中症患者や死亡者が年々増えているので、自分にも近い話だと思ったから ✓ 地球温暖化の影響で水不足が大きな問題にならないような取組を知り、みんなに伝えたいため ✓ 気温が高くなりすぎて外に出られなくなるのではないかと思ったから ☆ 危機感があまりないので、焦りをもたせる（ワークショップなどを通して、危機感を感じてほしい）
⑤専門性	-（該当する回答なし）
⑥社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会貢献をあまりしたことがなく、したいと思ったから ✓ 地球温暖化問題について調べたりすることで、少しでも社会のためになると思ったから ✓ CO₂を減らせたらみんな喜ぶから ✓ 地球温暖化が進んでいて全世界で問題になっている中で、解決策を見つけていきたいと思ったから ☆ 地元の食材で料理をする
⑦他者や他校生との交流	-（該当する回答なし）
⑧報酬	☆ イベントなどで報酬を出し、知ってもらう
⑨その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境問題について詳しく知らないことが多すぎるから、自分や周りの人のためにも知識として持っておきたいと思ったから

質問	カーボンニュートラルを実現したとき、どのようなまちになっていて欲しいと思いますか。
区分	こどもたちの意見（一例）
緩和	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 温暖化の影響にすぐ対応できるまち ✧ 暑さや気候変動などで苦しい思いをすることが1人でも減らせるまち ✧ 熱中症患者ゼロのまち ✧ 気候変動対応し、住み続けたいまち
新技術	<ul style="list-style-type: none"> ✧ メタネーション ✧ CCS、CCUS ✧ 酸素を排出する車 ✧ 空飛ぶ車（CO₂を出さない）
移動	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 無人運転が普及して、移動を便利に（災害時でも使える） ✧ 車の渋滞が減り、二酸化炭素（温室効果ガス）の排出量が少ないまち ✧ 市電やバスが、より環境にやさしい乗り物に替わっているまち
理解・意識	<ul style="list-style-type: none"> ✧ カーボンニュートラルについて、ほとんどの人が理解し、全国にも良さを伝えていくまち ✧ カーボンニュートラルについてみんなが理解、1人でも苦しい思いをする人を減らしていく町
自然	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 自然がたくさんあるまち ✧ 環境にやさしいまち
災害	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 自然災害がない町になればいいな
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ✧ 無駄な生産がなくなり、ごみの少ないまち
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ✧ より住みやすい、国を越え世界にも注目されるようなまち

資料7 関連する主な法令等

(1) 地球温暖化対策の推進に関する法律（抜粋）

改正：令和七年六月一日

（地方公共団体実行計画等）

第二十一条 都道府県及び市町村は、単独で又は共同して、地球温暖化対策計画に即して、当該都道府県及び市町村の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減等のための措置に関する計画（以下「地方公共団体実行計画」という。）を策定するものとする。

2 地方公共団体実行計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

一 計画期間

二 地方公共団体実行計画の目標

三 実施しようとする措置の内容

四 その他地方公共団体実行計画の実施に関し必要な事項

3 都道府県及び指定都市等（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市（以下「指定都市」という。）及び同法第二百五十二条の二十二第一項の中核市をいう。以下同じ。）は、地方公共団体実行計画において、前項各号に掲げる事項のほか、その区域の自然的・社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の量の削減等を行うための施策に関する事項として次に掲げるものを定めるものとする。

一 太陽光、風力その他の再生可能エネルギーであって、その区域の自然的・社会的条件に適したものとの利用の促進に関する事項

二 その利用に伴って排出される温室効果ガスの量がより少ない製品及び役務の利用その他のその区域の事業者又は住民が温室効果ガスの排出の量の削減等に関して行う活動の促進に関する事項

三 都市機能の集約の促進、公共交通機関の利用者の利便の増進、都市における緑地の保全及び緑化の推進その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に資する地域環境の整備及び改善に関する事項

四 その区域内における廃棄物等（循環型社会形成推進基本法（平成十二年法律第百十号）第二条第二項に規定する廃棄物等をいう。）の発生の抑制の促進その他の循環型社会（同条第一項に規定する循環型社会をいう。）の形成に関する事項

五 前各号に規定する施策の実施に関する目標

4 市町村（指定都市等を除く。）は、地方公共団体実行計画において、第二項各号に掲げる事項のほか、その区域の自然的・社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の量の削減等を行うための施策に関する事項として前項各号に掲げるものを定めるよう努めるものとする。

5 市町村は、地方公共団体実行計画において第三項各号に掲げる事項を定める場合においては、地域脱炭素化促進事業の促進に関する次に掲げる事項を定めるよう努めるものとする。

一 地域脱炭素化促進事業の目標

二 地域脱炭素化促進事業の対象となる区域（以下「促進区域」という。）

三 促進区域において整備する地域脱炭素化促進施設の種類及び規模

四 地域脱炭素化促進施設の整備と一体的に行う地域の脱炭素化のための取組に関する事項

五 地域脱炭素化促進施設の整備と併せて実施すべき次に掲げる取組に関する事項

イ 地域の環境の保全のための取組

□ 地域の経済及び社会の持続的発展に資する取組

- 6 共同して地方公共団体実行計画を策定する都道府県及びその区域内の市町村は、当該地方公共団体実行計画において前項各号に掲げる事項を定めることができる。
- 7 促進区域は、環境の保全に支障を及ぼすおそれがないものとして環境省令で定める基準に従い、かつ、都道府県が第三項第一号に掲げる事項として促進区域の設定に関する基準を定めた場合にあっては、当該基準に基づき、定めるものとする。
- 8 前項に規定する都道府県の基準は、環境省令で定めるところにより、同項の環境省令で定める基準に即して、地域の自然的・社会的条件に応じた環境の保全に配慮して定めるものとする。
- 9 都道府県及び市町村は、地球温暖化対策の推進を図るため、都市計画、農業振興地域整備計画その他の温室効果ガスの排出の量の削減等に関係のある施策について、当該施策の目的の達成との調和を図りつつ地方公共団体実行計画と連携して温室効果ガスの排出の量の削減等が行われるよう配意するものとする。

(2) 気候変動適応法（抜粋）

改正：令和六年四月一日

（地域気候変動適応計画）

第十二条 都道府県及び市町村は、その区域における自然的経済的社会的状況に応じた気候変動適応に関する施策の推進を図るため、単独で又は共同して、気候変動適応計画を勘案し、地域気候変動適応計画（その区域における自然的経済的社会的状況に応じた気候変動適応に関する計画をいう。）を策定するよう努めるものとする。

気候変動適応法の概要

平成30年6月制定
令和5年4月改正（熱中症対策の追加）

1. 適応の総合的推進

- 国は、農業や防災等の各分野の適応を推進する**気候変動適応計画**を策定。その進展状況について、把握・評価手法を開発。（閣議決定の計画を法定計画に格上げ。更なる充実・強化を図る。）
- 気候変動影響評価**をおおむね5年ごとに行い、その結果等を勘案して計画を改定。

各分野において、信頼できるきめ細かな情報に基づく効果的な適応策の推進



将来影響の科学的知見に基づき、
・高温耐性の農作物品種の開発・普及
・魚類の分布域の変化に対応した漁場の整備
・堤防・洪水調整施設等の着実なハード整備
・ハザードマップ作成の促進
・熱中症予防対策の推進 等

2. 情報基盤の整備

- 適応の**情報基盤の中核として国立環境研究所**を位置付け。



3. 地域での適応の強化

- 都道府県及び市町村に、**地域気候変動適応計画**策定の努力義務。
- 地域において、適応の情報収集・提供等を行う体制（**地域気候変動適応センター**）を確保。
- 広域協議会**を組織し、国と地方公共団体等が連携。

4. 適応の国際展開等

- 国際協力の推進。
- 事業者等の取組・適応ビジネスの促進。

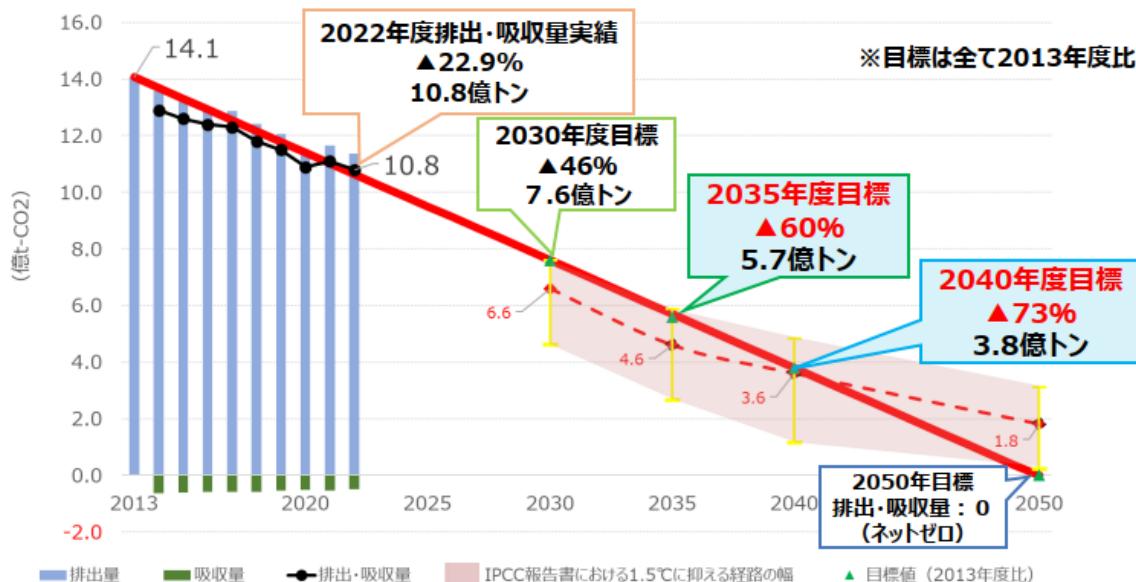
5. 熱中症対策の推進

- 国に対する**熱中症警戒情報・熱中症特別警戒情報**の発表及び周知
- 熱中症対策実行計画**の策定
- 自治体に対する**指定暑熱避難施設、熱中症対策普及団体**の指定及び活用

出典：環境省「気候変動適応法 概要」より抜粋

(3) 地球温暖化対策計画 次期削減目標（NDC）

- 我が国は、**2030年度目標と2050年ネット・ゼロを結ぶ直線的な経路を、弛まず着実に歩んでいく。**
- 次期NDCについては、**1.5℃目標に整合的で野心的な目標**として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ**60%、73%削減**することを目指す。
- これにより、中長期的な**予見可能性**を高め、**脱炭素と経済成長の同時実現**に向か、**GX投資を加速**していく。



【参考】温室効果ガス別の排出削減・吸収量の目標・目安

【単位：100万t-CO₂、括弧内は2013年度比の削減率】

	2013年度実績	2030年度（2013年度比）※1	2040年度（2013年度比）※2
温室効果ガス排出量・吸収量	1,407	760 (▲46%※3)	380 (▲73%)
エネルギー起源CO ₂	1,235	677 (▲45%)	約360～370 (▲70～71%)
産業部門	463	289 (▲38%)	約180～200 (▲57～61%)
業務その他部門	235	115 (▲51%)	約40～50 (▲79～83%)
家庭部門	209	71 (▲66%)	約40～60 (▲71～81%)
運輸部門	224	146 (▲35%)	約40～80 (▲64～82%)
エネルギー転換部門	106	56 (▲47%)	約10～20 (▲81～91%)
非エネルギー起源CO ₂	82.2	70.0 (▲15%)	約59 (▲29%)
メタン (CH ₄)	32.7	29.1 (▲11%)	約25 (▲25%)
一酸化二窒素 (N ₂ O)	19.9	16.5 (▲17%)	約14 (▲31%)
代替フロン等4ガス	37.2	20.9 (▲44%)	約11 (▲72%)
吸収源	-	▲47.7 (-)	▲約84 (-) ※4
二国間クレジット制度 (JCM)	-	官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。	官民連携で2040年度までの累積で2億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。

※1 2030年度のエネルギー起源二酸化炭素の各部門は目安の値。

※2 2040年度のエネルギー起源二酸化炭素及び各部門については、2040年度エネルギー需給見通しを作成する際に実施した複数のシナリオ分析に基づく2040年度の最終エネルギー消費量等を基に算出したもの。

※3 さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。

※4 2040年度における吸収量は、地球温暖化対策計画第3章第2節3. (1)に記載する新たな森林吸収量の算定方法を適用した場合に見込まれる数値。

出典：「地球温暖化対策計画（令和7年2月18日閣議決定）」より抜粋

(4) 気候変動適応計画

気候変動適応計画の概要

令和3年10月22日閣議決定
(令和5年5月30日一部変更)

目標	気候変動影響による被害の防止・軽減、国民の生活の安定、社会・経済の健全な発展、自然環境の保全及び国土の強靭化を図り、安全・安心で持続可能な社会を構築することを目指す													
計画期間	今後おおむね5年間													
基本戦略	7つの基本戦略の下、関係府省庁が緊密に連携して気候変動適応を推進	<p>(4) 地域の実情に応じた気候変動適応を推進する (5) 国民の理解を深め、事業活動に応じた気候変動適応を促進する (6) 開発途上国への適応能力の向上に貢献する (7) 関係行政機関の緊密な連携協力体制を確保する</p>												
進捗管理	PDCAサイクルの下、分野別・基盤的施策に関するKPIの設定、国・地方自治体・国民の各レベルで気候変動適応を定着・浸透させる観点からの指標(*)の設定等による進捗管理を行うとともに、適応の進展状況の把握・評価を実施 (*)分野別施策KPI（大項目）の設定比率、地域適応計画の策定率、地域適応センターの設置率、適応の取組内容の認知度など													
気候変動の影響と適応策（分野別の例）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>農林水産</th> <th>健康</th> <th>経済活動</th> <th>都市生活・国際化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>影響：高温によるコメの品質低下 適応策：高温耐性品種の導入</td> <td>影響：熱中症による死亡リスクの増加 適応策：高齢者への予防情報伝達</td> <td>影響：様々な感染症の発生リスクの変化 適応策：気候変動影響に関する知見収集</td> <td>影響：安全保障への影響 適応策：影響最小限にする視点での施策推進</td> </tr> <tr> <td>影響：洪水の原因となる大雨の増加 適応策：「流域治水」の推進</td> <td>影響：土石流等の発生頻度の増加 適応策：砂防堤壠の設置等</td> <td>影響：インフラ・ライフラインへの影響 適応策：施設やシステムの強靭化 グリーンインフラの活用等</td> <td>影響：灌漑期における地下水位の低下 適応策：地下水マネジメントの推進等</td> </tr> </tbody> </table>		農林水産	健康	経済活動	都市生活・国際化	影響：高温によるコメの品質低下 適応策：高温耐性品種の導入	影響：熱中症による死亡リスクの増加 適応策：高齢者への予防情報伝達	影響：様々な感染症の発生リスクの変化 適応策：気候変動影響に関する知見収集	影響：安全保障への影響 適応策：影響最小限にする視点での施策推進	影響：洪水の原因となる大雨の増加 適応策：「流域治水」の推進	影響：土石流等の発生頻度の増加 適応策：砂防堤壠の設置等	影響：インフラ・ライフラインへの影響 適応策：施設やシステムの強靭化 グリーンインフラの活用等	影響：灌漑期における地下水位の低下 適応策：地下水マネジメントの推進等
農林水産	健康	経済活動	都市生活・国際化											
影響：高温によるコメの品質低下 適応策：高温耐性品種の導入	影響：熱中症による死亡リスクの増加 適応策：高齢者への予防情報伝達	影響：様々な感染症の発生リスクの変化 適応策：気候変動影響に関する知見収集	影響：安全保障への影響 適応策：影響最小限にする視点での施策推進											
影響：洪水の原因となる大雨の増加 適応策：「流域治水」の推進	影響：土石流等の発生頻度の増加 適応策：砂防堤壠の設置等	影響：インフラ・ライフラインへの影響 適応策：施設やシステムの強靭化 グリーンインフラの活用等	影響：灌漑期における地下水位の低下 適応策：地下水マネジメントの推進等											
気候変動適応に関する基盤的施策	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動等に関する科学的知見の充実及びその活用 気候変動等に関する情報の収集、整理、分析及び提供を行う体制の確保 地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進 事業者等の気候変動適応及び気候変動適応に資する事業活動の促進 気候変動等に関する国際連携の確保及び国際協力の推進 													
熱中症対策実行計画に関する基本的事項	実行計画の目標及び期間、実行計画に定める施策や取組（関係者の基本的役割、熱中症対策に関する具体的な施策、熱中症対策の推進体制並びに実行計画の見直し及び評価等）を定める旨を規定													

気候変動適応に関する基盤的施策



《KPIの例》

- 日本の閣議決定された基本計画・白書のうち、気候変動適応への対応について明記されている計画の割合
- 気候変動予測及び影響予測・評価研究に関する取組・事業の数・予算額
- 都道府県・政令指定都市が策定する行政計画（例：総合計画、地域防災計画等）のうち、防災の取組について気候変動適応の視点が反映されている割合
- 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）のアクセス数
- アジア太平洋気候変動適応情報プラットフォーム（AP-PLAT）からの情報発信件数

6

出典：環境省「気候変動適応計画について令和3年10月（令和5年5月一部更新）」より抜粋

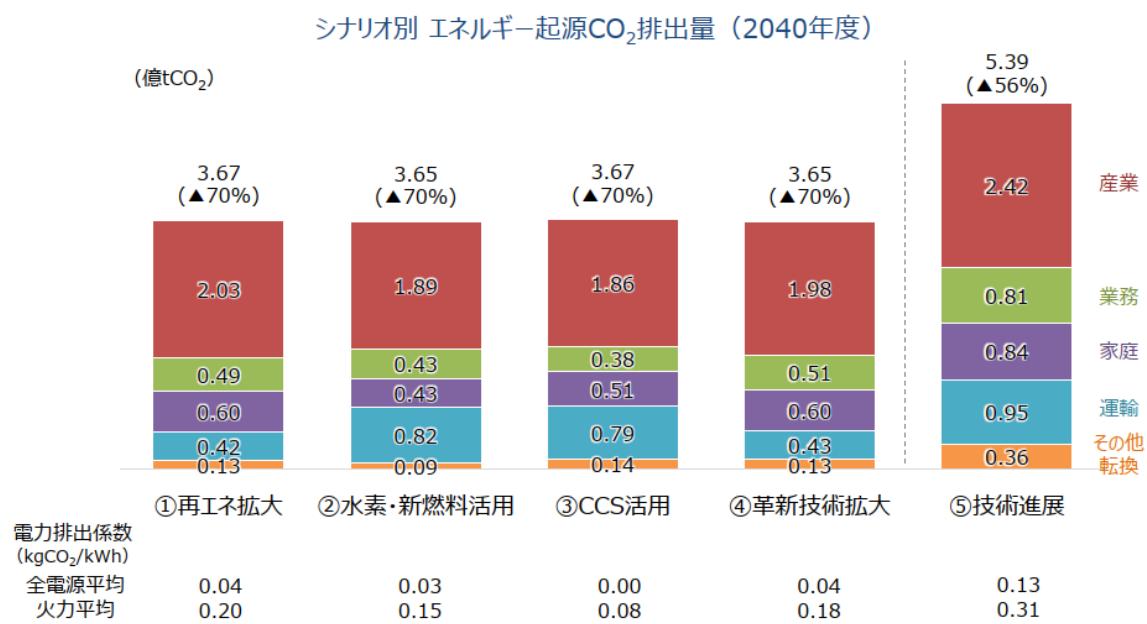
(5) 2040年度におけるエネルギー需給の見通し

(参考) 複数シナリオの考え方

シナリオ	シナリオの概要
①再エネ拡大	既存の再エネ技術に加え、ペロブスカイト太陽電池・浮体式洋上風力等の大幅なコスト低減が実現し、国内の再エネ導入量が拡大。
②水素・新燃料活用	水素等の製造コストの大幅な低減により、水素・アンモニア火力の活用とともに、非電力部門における水素・アンモニアや合成燃料・合成メタン等の活用が拡大。
③CCS活用	CO ₂ 貯留可能量の拡大、CO ₂ 回収・輸送・貯留技術の大幅なコスト低減により、一定の化石燃料の利用が残存しつつ、発電や産業でのCCSの活用が拡大。
④革新技術拡大	幅広い革新技術で導入制約の克服、大幅なコスト低減等が進展。エネルギー需給の両面で様々な革新技術をバランスよく活用することにより、脱炭素化が進展。
⑤技術進展	2040年度までに革新技術の大幅なコスト低減等が十分に進まず、既存技術を中心にその導入拡大が進展。

シナリオ別 エネルギー起源CO₂排出量

- 2050年ネットゼロに向けた直線的な排出削減を実現するシナリオでは、エネルギー起源CO₂排出量は3.7億トン程度（2013年度比▲70%程度）。



出典：資源エネルギー庁「2040年度におけるエネルギー需給の見通し（関連資料）令和7年2月」より抜粋

資料8 関連する市町村の上位計画

熊本市

熊本市第8次総合計画	
計画期間	令和6年度（2024年度）～令和13年度（2031年度）
将来像	上質な生活都市
基本目標・施策等	ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち
	ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち
	ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち
	ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち
	ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち
	ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち
	ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち
	ビジョン8 市民に信頼される市役所

第4次熊本市環境総合計画	
計画期間	令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度）
基本理念 (目指す都市像)	恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市
基本目標・施策等	基本方針1 快適で安全・安心な生活環境をつくる
	基本方針2 恵み豊かな自然環境をまもり、そだてる
	基本方針3 歴史的・文化的環境をまもり、次世代につなぐ
	基本方針4 生物多様性に配慮した自然共生社会をつくる
	基本方針5 環境負荷の少ない持続可能な循環型社会をつくる
	基本方針6 地域から行動し、地球環境をまもる
	基本方針7 各方針をつなぎ横断的に取り組む

玉名市

第2次玉名市総合計画 後期計画	
計画期間	令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）
将来像	人と自然が輝きやさしさと笑顔にあふれるまち玉名
基本目標・施策等	基本目標1 自然と暮らしを守るふるさとづくり 基本目標2 人と文化を育む地域づくり 基本目標3 賑わいと活力ある産業づくり 基本目標4 便利で快適な都市づくり 基本目標5 健康で安心な福祉づくり 基本目標6 公平で誇りの持てる社会づくり 基本目標7 健全な行政運営

第2次玉名市環境基本計画後期計画	
計画期間	令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）
環境像	人と自然が共生し 笑顔あふれるまち 玉名
基本目標・施策等	環境目標1 便利で快適なまちづくり 環境目標2 ゼロカーボンをめざすまちづくり 環境目標3 豊かな自然を継承するまちづくり 環境目標4 資源が循環しつづけるまちづくり 環境目標5 みんなで進める協働のまちづくり

山鹿市

第2次山鹿市総合計画 後期基本計画

計画期間	令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	人輝き飛躍する都市（まち）やまが ～人と自然・産業・歴史文化が響き合うまちづくり～
基本目標・施策等	基本目標Ⅰ やまがを元気にする人材の育成
	基本目標Ⅱ 地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出
	基本目標Ⅲ 住みやすく子育てしやすい環境の充実
	基本目標Ⅳ 健やかで安心して暮らせる地域の実現
	基本目標Ⅴ 戦略的な行政経営と質の高い行政サービスの提供

第3次山鹿市環境基本計画

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）
環境像	人が自然と共生する温もりのあるまち やまが
基本目標・施策等	基本目標Ⅰ 豊かな自然を未来に引き継ぐ
	基本目標Ⅱ 健康で安全・安心のくらしを守る
	基本目標Ⅲ 人の温もりと文化の香る快適なまちをつくる
	基本目標Ⅳ 市民力をあわせて地球環境を守る
	基本目標Ⅴ 環境にやさしいふるまいができる人をつくる

菊池市

第3次菊池市総合計画 後期基本計画	
計画期間	令和8年度（2026年度）～令和11年度（2029年度）
将来像	人と自然が調和し 希望と活力に満ちた『癒しの里』きくち
基本目標・施策等	政策分野1 産業と経済 豊富な資源を生かした産業づくり
	政策分野2 子育てと健康福祉 みんなで支え合う安心づくり
	政策分野3 自然環境と暮らしの基盤 自然の恵みを守り安全で魅力あるまちづくり
	政策分野4 教育と文化 学び合いと地域が育む人づくり
	政策分野5 市政運営 市民に分かりやすい健全な行財政運営

第2次菊池市環境基本計画	
計画期間	令和元年度（2019年度）～令和10年度（2028年度）
環境像	水とたわむれ、緑にやすらぎ、人と自然を育み継承するまち きくち
基本目標・施策等	基本目標1 自然共生社会の実現
	基本目標2 安全で快適な生活環境の実現
	基本目標3 環境保全行動への参画促進
	基本目標4 低炭素社会の実現
	基本目標5 循環型社会の実現

宇土市

第6次宇土市総合計画 後期基本計画

計画期間	令和5年度（2023年度）～令和8年度（2026年度）
将来像	復興から発展へ 未来へ”輝くふるさと”宇土
基本目標・施策等	安全・安心 【“輝く”未来～震災からの復興～】
	教育・文化 【“輝く”人～学びのふるさとづくり～】
	保健・福祉・医療 【“輝く”絆～安心のふるさとづくり～】
	産業・経済 【“輝く”産業～活力のふるさとづくり～】
	生活環境・都市基盤 【“輝く”まち～安全のふるさとづくり～】
	住民協働・行財政運営 【計画の推進】

第4次宇土市環境基本計画

計画期間	令和7年度（2025年度）～令和12年度（2030年度）
環境像	次世代に責任の持てる地域環境をみんなで創るまち 宇土市
基本目標・施策等	長期目標1 みんなで環境について学び考えるまち
	長期目標2 みんなで育む安心な暮らしと豊かな文化と水のまち
	長期目標3 みんなで育む豊かな自然が息づく山と川と海のまち
	長期目標4 みんなで取り組む脱炭素のまち
	長期目標5 みんなで取り組む資源循環のまち

宇城市

宇城市総合計画	
計画期間	令和 7 年度（2025 年度）～令和 14 年度（2032 年度）
将来像	ここがいい。ともに過ごすまち 宇城
基本目標・施策等	こどもの笑顔をつくるまち
	住みよく安心できるまち
	活力ある魅力的なまち
	多様な人々の流れをつくるまち
	こどもの笑顔をつくるまち

第2次宇城市環境基本計画（中間見直し版）	
計画期間	平成 29 年度（2017 年度）～令和 8 年度（2026 年度）
環境像	ここちいい！人も自然も豊かな環境先進都市
基本目標・施策等	環境目標 1(自然環境)：豊かな自然とともに生きるまち
	環境目標 2(生活環境)：健康で安心して住み続けられるまち
	環境目標 3(都市環境)：地域の個性あふれる美しいまち
	環境目標 4(循環型社会)：資源を循環利用する環境にやさしいまち
	環境目標 5(地球環境)：未来を思いやる地球に貢献するまち
	環境目標 6(環境活動)：みんなで築く協働のまち

阿蘇市

第3次阿蘇市総合計画（基本構想・前期基本計画）	
計画期間	基本構想：令和7年度（2025年度）～令和15年度（2033年度） 前期基本計画：令和7年度（2025年度）～令和11年度（2029年度）
将来像	大自然とともに ワクワクする未来へ
基本目標・施策等	基本目標1 産業・経済 阿蘇の大地に挑戦が芽吹く、にぎわいのあるまち
	基本目標2 子育て・教育 阿蘇の伝統と文化に育まれ、夢が広がるまち
	基本目標3 健康・医療・保健 阿蘇のぬくもりに包まれる健やかでやすらぐまち
	基本目標4 インフラ整備・防災 阿蘇の暮らしを守り、誰もが安心して過ごせるまち
	基本目標5 環境・自然 阿蘇の草原と清らかな水を未来へつなぐまち
	基本目標6 行政運営 阿蘇市民とともに歩み、信頼と誇りを築くまち

第2次阿蘇市環境基本計画	
計画期間	令和5年度（2023年度）～令和14年度（2032年度）
環境像	自然も人も豊かに暮らせる持続可能な“新しい阿蘇”を目指して
基本目標・施策等	基本目標1 安全・安心な暮らしを守る
	基本目標2 自然と共生し緑豊かなまちをめざす
	基本目標3 ごみの減量と資源の有効活用をめざす
	基本目標4 地球を守るために市民一人ひとりが行動する
	基本目標5 環境問題への意欲的な取り組みの推進

合志市

合志市総合計画第3次基本構想第1期基本計画	
計画期間	令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）
将来像	人と地域が輝く未来へ～健幸都市こうし～
基本目標・施策等	政策1 自治の健幸
	政策2 福祉の健幸
	政策3 教育の健幸
	政策4 生活環境の健幸
	政策5 都市基盤の健幸
	政策6 産業の健幸

美里町

美里町第2次振興計画後期基本計画	
計画期間	令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	小さくともキラリと光る私たちのまちーやさしさと対話のまちづくりー
基本目標・施策等	施策の大綱1 協働のまちづくり
	施策の大綱2 健康・福祉のまちづくり
	施策の大綱3 教育・文化のまちづくり
	施策の大綱4 産業・観光のまちづくり
	施策の大綱5 住みよく快適なまちづくり

玉東町

第6次玉東町総合計画	
計画期間	令和3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	一人ひとりが手をとりあい、未来に向かって挑戦するまち
基本目標・施策等	基本目標I まちなか環境と自然環境が調和した住みやすいまちづくり
	基本目標II 未来を拓き、次代を担う人材を育むまちづくり
	基本目標III すべての人が生き生きと人生を謳歌できるまちづくり
	基本目標IV 地域の特性を活かした、活力と魅力にあふれるまちづくり
	基本目標V 自助・共助・公助の連携で未来をつくるまちづくり

南関町

南関町総合振興計画 第7次基本構想・基本計画

計画期間	令和5年度（2023年度）～令和8年度（2026年度）
将来像	新しい空間と暮らしの中で、あらゆる挑戦を支える町なんかん
基本目標・施策等	健康・福祉 誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり
	自然環境・衛生 緑豊かな環境と共生するまちづくり
	地域社会・人権 心が通いふれあうまちづくり
	産業・観光 産業が盛んな元気のあるまちづくり
	交通 交通基盤の整ったまちづくり
	住環境 ゆとりある住環境のまちづくり
	教育・文化・スポーツ 共に学びあえるまちづくり
	協働・行財政 分権社会を担う自立したまちづくり

長洲町

第6次長洲町総合振興計画

計画期間	令和3年度（2021年度）～令和10年度（2028年度）
将来像	魅力と活力あふれ 夢ふくらむ 未来輝くまち
基本目標・施策等	基本目標1 安全・安心で自然豊かな住みよいまち
	基本目標2 子どもの生きる力を育み夢と希望に満ちたまち
	基本目標3 誰もが健康で生きがいを持ち自分らしく生活できるまち
	基本目標4 強い産業を創出し魅力に満ちたにぎわいのあるまち
	基本目標5 誰もがまちづくりに参画し人が輝くまち

和水町

第2次和水町まちづくり総合計画 後期基本計画

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	笑顔輝き 魅力あふれる 和水町
基本目標・施策等	基本目標1 安心・安全に暮らせるまち【安心・安全・地域連携】
	基本目標2 住みたくなる魅力あるまち【移住定住・町の魅力づくり】
	基本目標3 活気あふれる個性豊かなまち【農林水産業、商工業振興・企業誘致・雇用創出】
	基本目標4 未来を担う人が育つまち【文化教育・人材教育】
	基本目標5 便利な生活と豊かな自然が共存するまち【生活基盤】
	基本目標6 地域と共に歩む「協働」のまち【協働・行財政運営】

大津町

第6次大津町振興総合計画 後期基本計画

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	夢と希望がかなう 元気大津
基本目標・施策等	基本方針1 「産業」ひと・もの・情報が行き交う農工商併進のまち
	基本方針2 「保健・福祉」笑顔でつなぐ元気で健やかなまち
	基本方針3 「教育・文化」ふるさとを愛し、未来に夢が膨らむまち
	基本方針4 「生活環境基盤」町の活力（にぎわい）を支える機能性の高いまち
	基本方針5 「市民活動・町政運営」“つながり”と“安心”の持てるまち

菊陽町

第7期菊陽町総合計画

計画期間	令和7年度（2025年度）～令和16年度（2034年度）
将来像	ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽
基本目標・施策等	政策分野1 あらゆる人が自分らしくくらせるまちへ
	政策分野2 いまを守り未来につなぐまちへ
	政策分野3 それぞれの暮らしを守り抜くまちへ
	政策分野4 多様な学びがあふれるまちへ
	政策分野5 誰もが誇り活気に満ちたまちへ
	政策分野6 喜びや楽しみが新たに見つかるまちへ
	政策分野7 さまざまな可能性が花ひらくまちへ
	政策分野8 さらに市民志向のまちへ

高森町

高森町総合計画

計画期間	令和5年度（2023年度）～令和9年度（2027年度）
将来像	将来の子どもたちに「誇れる高森町」
基本目標・施策等	基本目標1 観光立町を実現するための「町づくり」
	基本目標2 町の情報化を基盤とする「町づくり」
	基本目標3 行財政改革・改善を実現する「町づくり」
	基本目標4 地域産業が元気な「町づくり」
	基本目標5 誇りと夢と元気を生み出す教育による「町づくり」
	基本目標6 健康いきいき＆子育て楽しい「町づくり」

西原村

第6次西原村総合計画 前期基本計画

計画期間	令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）
将来像	ひとが育み ひとと輝く 誇りあるふるさと 西原村
基本目標・施策等	基本目標1 産業と暮らしが共に栄えるむら
	基本目標2 安心・安全な暮らしのむら
	基本目標3 多様性を受け入れる支え合いのむら
	基本目標4 豊かなこころとからだを育むむら
	基本目標5 手をとり合い共に歩むむら

南阿蘇村

第2次南阿蘇村総合計画【改定版】後期基本計画

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	誰もが住みたい 住み続けたい 南阿蘇村
基本目標・施策等	政策1 自然環境の保全と活用
	政策2 地域特性を生かした農林業の振興
	政策3 ともに学び育て合う未来の人づくり
	政策4 安心・安全で幸せを感じるむらづくり
	政策5 便利で住みやすい定住のむらづくり
	政策6 暮らしを支える行政運営の推進

御船町

第6期御船町総合計画 後期基本計画

計画期間	令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）
将来像	みんながわくわくする御船町
基本目標・施策等	基本目標1 住み続けたいみふねまち
	基本目標2 人を育むみふねまち
	基本目標3 活力のあるみふねまち
	基本目標4 人が集うみふねまち
	基本目標5 総合計画の適正な推進

嘉島町

第6次嘉島町総合計画

計画期間	令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）
将来像	1. 自然とともにある住みよいまち 2. 安心・安全で活力のあるまち 3. みんなでつくる協働のまち
基本目標・施策等	基本方針1 生活環境の向上
	基本方針2 都市基盤の整備
	基本方針3 産業の振興
	基本方針4 保健・医療・福祉の向上
	基本方針5 防災・防犯などの充実
	基本方針6 教育・文化の向上
	基本方針7 住民参画・男女共同参画などの推進
	基本方針8 効率的・効果的な行政基盤の構築

益城町

第6次益城町総合計画 第2期基本計画

計画期間	令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）
将来像	住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち
基本目標・施策等	大綱1 新たなにぎわいづくりに向けた計画的なまちづくり
	大綱2 町の魅力と活力を生み出す産業によるまちづくり
	大綱3 すべてのこどもを元気・笑顔にするまちづくり
	大綱4 みんなが“やりたいこと”で主役になれるまちづくり
	大綱5 みんなで健康づくりに取り組み、地域で支えるまちづくり
	大綱6 みんなが安心して暮らせるまちづくり
	大綱7 益城ならではの魅力を伝え、みんなに選ばれるまちづくり
	大綱8 効果的で効率的な行政運営が行われるまちづくり

甲佐町

第7次甲佐町総合計画 基本構想・前期基本計画

計画期間	令3年度（2021年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	1. 地域資源を生かし、活力にあふれ、にぎわうまち 2. 自然と共生し、安全・安心・快適に暮らせるまち 3. 人を育み、交流するまち 4. みんなで協働してつくるまち
基本目標・施策等	政策分野1 産業の振興
	政策分野2 都市基盤の整備
	政策分野3 生活環境の整備
	政策分野4 健康・福祉の向上
	政策分野5 教育・文化の向上
	政策分野6 協働による施策の推進

山都町

第2次山都町総合計画 後期基本計画

計画期間	令2年度（2020年度）～令和7年度（2025年度）
将来像	輝く!!みんなでつくる『山の都』のものがたり
基本目標・施策等	カクゴ1 「山の都」の未来に光をあてる人づくり
	カクゴ2 「山の都」の特性を活かした魅力ある産業づくり
	カクゴ3 「山の都」での暮らしを守る環境づくり
	カクゴ4 「山の都」の個性が輝く地域づくり
	カクゴ5 効果的な行財政運営